

平成29年度

# 事業報告書

社会福祉法人 敬和会

高齢者生活支援施設 けいわ荘  
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ  
居宅介護支援センター けいわ荘  
厚木市荻野地域包括支援センター  
え ま 一 ぶ る  
ケアプランセンター けいわ  
ケアハウス えがりて

# 目次

事業総括	1	③ ボランティア実績表	15
主な実績	1	1) 団体	15
部門総括	3	2) 個人ボランティア	16
1 生活支援課	3	【施設ケアマネージャー】	17
2 地域支援課	3	【栄養】	18
3 管財課	4	2 地域支援課	19
4 総務課	4	事業総括	19
5 ケアハウスえがりて	4	1) 居宅介護支援センターけいわ荘	19
部門別事業報告	6	I) 居宅介護支援	19
1 生活支援課	6	II) 通所介護	20
① 入所者諸状況	6	III) 訪問介護（障害福祉含む）	21
1) 男女別入所者年齢構成	6	IV) 短期入所生活介護	22
2) 平均在所期間	7	2) 地域包括支援センター	25
3) 平均年齢、最高・最低年齢	7	3) 配食サービス	28
4) 介護保険 要介護度別人数	8	4) えまーぶる	31
5) 年間施設稼働実績表（稼働率）	9	I) 通所介護事業所	31
6) 年間施設稼働実績表（実数）	10	II) 居宅介護支援事業所	32
7) クラブ活動実績表	11	5) ケアプランセンターけいわ	32
8) 行事報告	11	3) 管財課	33
9) 諸会議	14	4) 総務課	36
② 地域交流実績	14	5) ケアハウスえがりて	38
1) 大学教員志望介護実習生受入れ	14	【研修会報告】	41
2) 介護実習生受入れ	14	① 外部研修	41
3) 看護専門学校実習生受入れ	14	② 施設内研修	43
4) 慰問	15	③ 幹部職員研修	43
5) 介護体験・インターンシップ	15		
6) 養護学校現場実習	15		

## 平成 29 年度 社会福祉法人 敬和会 事業報告

### 事業総括

社会福祉法人敬和会では、経営の自律性の強化と安定性の確保等を調和させた「法人経営」という考え方を持ち、基本理念の一つである「安らかなる老人の生き甲斐を守り育む」精神を日々の支えとする中で、「地域と共に歩み、育つ施設づくり」を実践してまいりました。

本年度より施行された社会福祉法の改正のポイントは、①経営組織のガバナンス強化、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的な取り組みを実施する責任の 4 点であります。時代とともに変化してきた社会、経済、多様化する地域の生活課題等さまざまな福祉ニーズが求められる状況において、社会福祉法人は、今日、より以上の「組織と意識の改革」が問われております。

今年度も施設経営の透明性の確保、職員の経営理念、経営方針の共有化を図り、施設利用者がより安全で安心して生き甲斐が持て、地域社会への開かれた施設運営を目指し、事業を展開してまいりました。

また、法令・指定基準に基づく適正な施設運営を日々心掛けながら事業を進めてきました。

### 主な実績

#### ① 幹部職員養成研修会効果

月 1 回のペースで、長年に渡り実施してきた幹部職員育成研修は、幹部職員のマネジメント力を高めました。

#### ② ストレスチェックの実施

昨年度、労働安全衛生法の改正により義務化されたストレスチェックを、全職員を対象として実施（2 回目）し、届出を行った。

#### ③ 介護業務記録システム「Notener（ノートナー）」運用の本格化

今年度の重点取り組み事項の一つに「ICT 化の取り組み」を掲げ、その具体的な取組みとして、「Notener」の運用が本格的に開始され、体制作りの第一歩を踏み出すことができました。

#### ④ 施設内研修会の充実と外部研修会の奨励

自律性を高め、職員一人ひとりのスキル・能力を高めるために、積極的に受講に参加しました。

#### ⑤ 地域への社会貢献の推進

##### (1) 障害者雇用

障害のある人が障害者のない人と同様、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような共生社会の実現を目指し、えびな支援学校の生徒 1 名および伊勢原養護学校の生徒

1 名をそれぞれ現場実習として受け入れました。また、併せて平成 28 年度の実習生を 1 名、非常勤職員として採用しました。

(2) 第 34 回納涼祭が盛大に開催

多数のご来賓をお迎えし、ボランティアの皆さんのご協力のもと、地域住民の皆様や地域の子ども達が参加され、盛大に行われました。

⑥ 危機管理対策の強化

危機発生時に的確に対応するための体制強化を図るべき、以下の点について実行されました。

- 施設内に防犯カメラの設置。
- 夜間の警備体制の見直し（マニュアルの修正）。
- 避難訓練および火災訓練に関する施設内研修の実施。
- 職員等安否確認訓練。
- 当法人の消防計画に基づく避難訓練および消火訓練を年 2 回（春・秋）実施した。なお、このうち 1 回は夜間を想定した訓練を実施。
- 都度見直しを行い、災害時に対応できる対策を講じる。
- 火災等の防止対策として自主点検を実施
- 施設内の感染症対策の徹底。

全国的に流行するインフルエンザや感染性胃腸炎の集団発生等の感染予防として、面会者の体調に応じ面会を制限する、あるいは生もの等の持込の自粛、さらに入館時には手指の消毒とともにマスクの着用等の協力を文書通知・館内掲示による周知や受付窓口でのお願いを行いました。

⑦ 地域包括ケアシステムの推進

鳶尾団地内 5 回、上荻野宮本地区で 1 回のタウンミーティングを実施し、地域のニーズと人的資源について協議をすることができました。

## 部門総括

重点取組事項	1. 生活支援課	2. 地域支援課
利用者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご家族様との交流を大切にして、面会時には積極的にコミュニケーションを図ることができました。</li> <li>○ ご利用者様主体のケアの実践に取り組むことができました。</li> <li>○ 関係部署との情報交換を行うことにより、多様なニーズのご利用者を受け入れることができました。</li> <li>○ 接遇委員会を通して目標の設置、実践しました。</li> <li>○ 挨拶、環境整備に重点を置いて取り組みました。</li> <li>○ 様々な背景のある方やご家族の受入れ、安心して生活ができるように努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他事業所との情報共有や目標達成状況等を正確に把握し、協働することができました。</li> <li>○ アクティビティを通して、ご利用者の笑顔を引き出すことができました。</li> <li>○ ご利用者の身体・生活状態を感知し、関係諸機関との密なる情報交換を行い、身体や生活環境が低下しないよう努めました。</li> <li>○ 安心して暮らせる地域の構築を目指して、タウンミーティングの開催や個々の課題を解決するための地域ケア会議を通してネットワークの構築に努めました。</li> </ul>
地域に密着したサービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニテでは、年 4 回の地域密着会議を開催し、地域から支持される施設づくりに努めました。</li> <li>○ ボランティア来荘時、積極的に挨拶や感謝の気持ちを伝えられるよう心がけ、取り組みました。</li> <li>○ ボランティアや実習生の積極的な受入れを行い、地域の皆様から信頼される事業所となるように努めました。</li> <li>○ 地域栄養連携に対する環境整備に後見しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連携により、地域の社会資源を含めた情報共有を行うことができました。</li> <li>○ タウンミーティングを開催し、地域福祉の基本と地域アセスメントに着手しました。</li> <li>○ 地域の事業所と連携を図り、地域に密着したサービスを行いました。</li> <li>○ ご利用者が培ってきた近隣との関係を継続しながら介護保険サービスが利用できるよう支援しました。</li> </ul>
ICT化の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護記録等 ICT 導入が円滑に進むよう、職員全員が前向きな姿勢で取り組める環境づくりや研修等に参加することで、業務の改善に向けた取り組みを行うことができました。</li> <li>○ 入浴表、食事摂取表をパソコン・タブレットで管理することができました。</li> <li>○ ICT 導入を円滑に行えるように、ICT 委員を中心に、委員会で決定したことを連絡帳や口頭で周知し、取り組むことができ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご利用者の身体・生活状況の変化時には、関係部署との報告・連絡・相談を速やかにとることができました。また、ICT 化を利用し、施設内の情報を密に共有することができました。</li> <li>○ パソコン業務に移行し、効率を図ることができました。</li> <li>○ ほのぼの NEXT を活用し、教務の簡素化、効率化を図りました。</li> <li>○ ケアマネジメント業務の効率化の検</li> </ul>

	きました。	証をすることことができた。
--	-------	---------------

重点取組事項	3. 管財課（詳細は後述）
ライフライン安定供給の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空調機老朽化及び省エネ対策の第一ステップとして補助金制度を使った省エネ診断を実施、各エネルギー消費量を測定、次年度第二ステップとなる空調設備改修に向けて準備を進めてまいりました。</li> </ul>
地震防災の強化と防火対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マニュアル委員会において災害時事業継続計画（BCP）を作成。災害時人員および災害物資等を速やかに手配できるよう計画しました。また、安否情報システムは、次年度より既存のものと同等なシステムに変更し、情報管理をいたします。</li> </ul>
交通事故防止活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理車両による交通事故は、小さな物損事故はありましたが、重大事故及び人身事故はありませんでした。</li> <li>○ 全国交通安全運動期間に合わせて、けいわ荘として重点目標を掲げたポスターを表示、交通マナーの向上に取り組みました。</li> <li>○ 車検、定期点検の漏れ、遅れがないよう、車両台帳を基に管理しました。</li> </ul>

### 主な平成 29 年度施設補修・改修関係内訳書

番号	補修項目	場所	番号	補修項目	場所
1	LED 照明に交換	新館本館	8	冷凍冷蔵庫購入	厨房
2	給湯器交換	厨房	9	雑排水ポンプ2台交換	新館地下
3	浄化槽自動スクリーン交換	新館	10	食器洗浄機修理	厨房
4	電気給湯器交換	陽だまり	11	ベッドキャスター交換	ユニテ
5	廊下エアコン修理	えがりて	12	ベッドキャスター交換	一般棟
6	居室引戸に改修2ヶ所	えがりて	13	大型乾燥機修理	施設
7	カラオケマイクセット修理	ディ	14	居室エアコン2台交換	えがりて

重点取組事項	4. 総務課（詳細は後述）
利用者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護職員がクオリティの高いサービスの提供が行えるよう、その裏方として、事務職員一丸となって協力した。</li> </ul>
地域に密着したサービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 萩野地域包括との連携のもと、「攻めの福祉」の第一歩が踏み出された。</li> </ul>
ICT 化の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノートナー研修に積極的に参加し、エビデンスの収集に努め、ある程度の介護現場のサポートに努めることができた。</li> </ul>

重点取組事項	5. ケアハウスえがりて
利用者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分らしく活き活きとした日々を過ごしていただくために、入居者に充実した生活を提供してまいりました。</li> </ul>
地域に密着したサービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括での諸行事に積極的に参加し、入居者に感動を与えることができました。</li> </ul>

ICT化の取り組み	<p>○ 業務の効率化、職員の負担軽減を図るために ICT の活用に向けて研修を重ねてきましたが、実施するまでには至りませんでした。次年度に向けて準備を本格化してまいります。</p>
-----------	---

## 【部門別事業報告】

### 1. 生活支援課

#### 事業総括

接遇マナーの向上を目指す中で、利用者やその家族と、より良好な関係を築き、十分な意思の疎通を図ることで、利用者が満足できる良質なサービスの提供を心掛けてまいりました。また、施設での生活が安全で快適なものとなるよう危険箇所の把握等の分析はもとより、危機管理体制の強化に向け職員間で情報の共有を密に行い、事故の未然防止に努めてまいりました。併せて、利用者のニーズを的確に把握し、状態に応じた適切な介護サービスが適時に提供できるよう個別ケアの推進に力を傾注してまいりました。

さらに、実習生やボランティアを積極的に受け入れ、人材の確保及び育成に繋げてまいりました。

#### ① 入所者諸状況（平成30年3月31日時点）

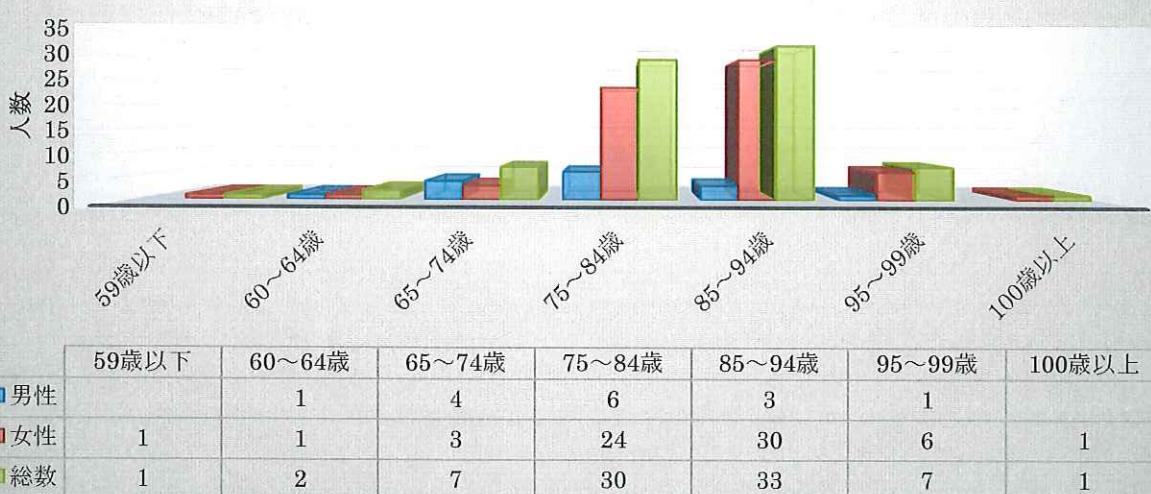
##### 1) 男女別入所者年齢構成

[高齢者生活支援施設 けいわ荘]

	59歳 以下	60歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～ 84歳	85歳～ 94歳	95歳～ 99歳	100歳 以上	総数
男性		1	4	6	3	1		15
女性	1	1	3	24	30	6	1	66
総数	1	2	7	30	33	8	1	81

(永眠により 1 名欠員)

#### 男女別年齢構成

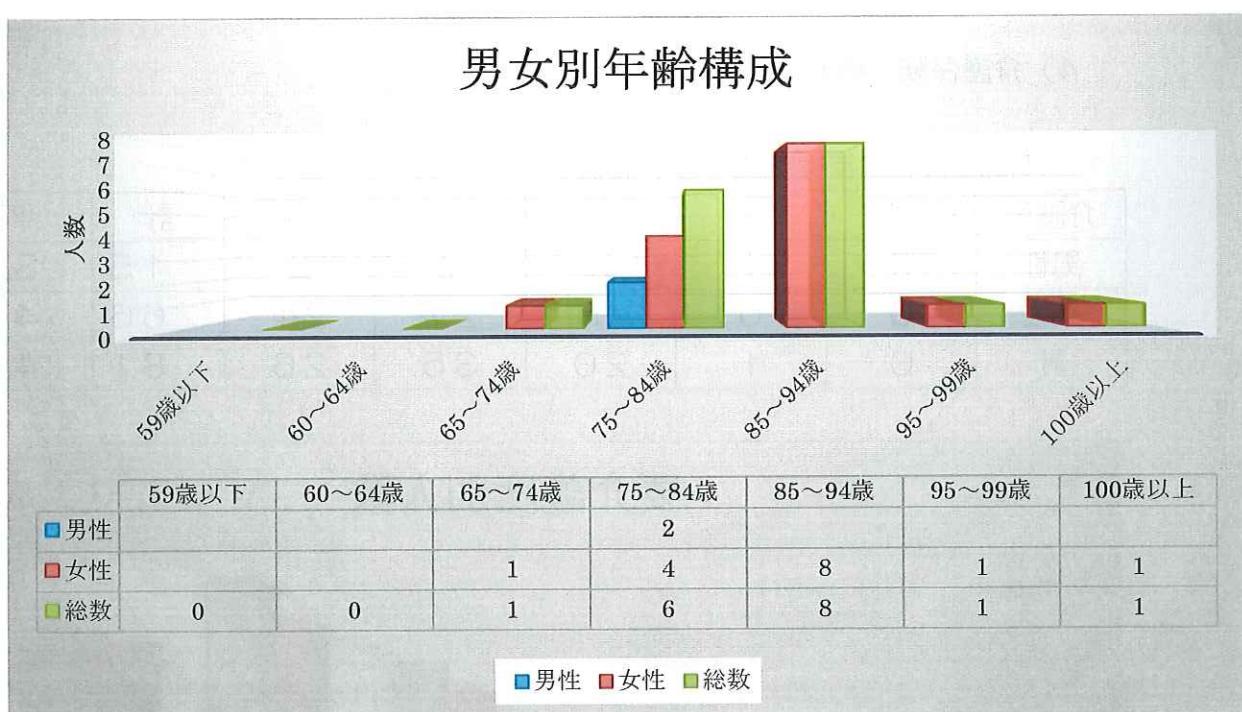


[特別養護老人ホーム ユニテ けいわ]

	59歳 以下	60歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～ 84歳	85歳～ 94歳	95歳～ 99歳	100歳 以上	総数
男性				2				2
女性			1	4	8	1	1	15
総数			1	6	8	1	1	17

(永眠により 1 名欠員)

男女別年齢構成



2) 平均在所期間

3) 平均年齢、最高・最低年齢

[高齢者生活支援施設 けいわ荘]

	平均在所期間
男性	1年 8ヶ月
女性	2年 9ヶ月
平均	2年 6ヶ月

	入所者数	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	15名	80.0歳	99歳	69歳
女性	66名	85.5歳	101歳	51歳
計	81名	84.5歳		

[特別養護老人ホーム ユニテ けいわ]

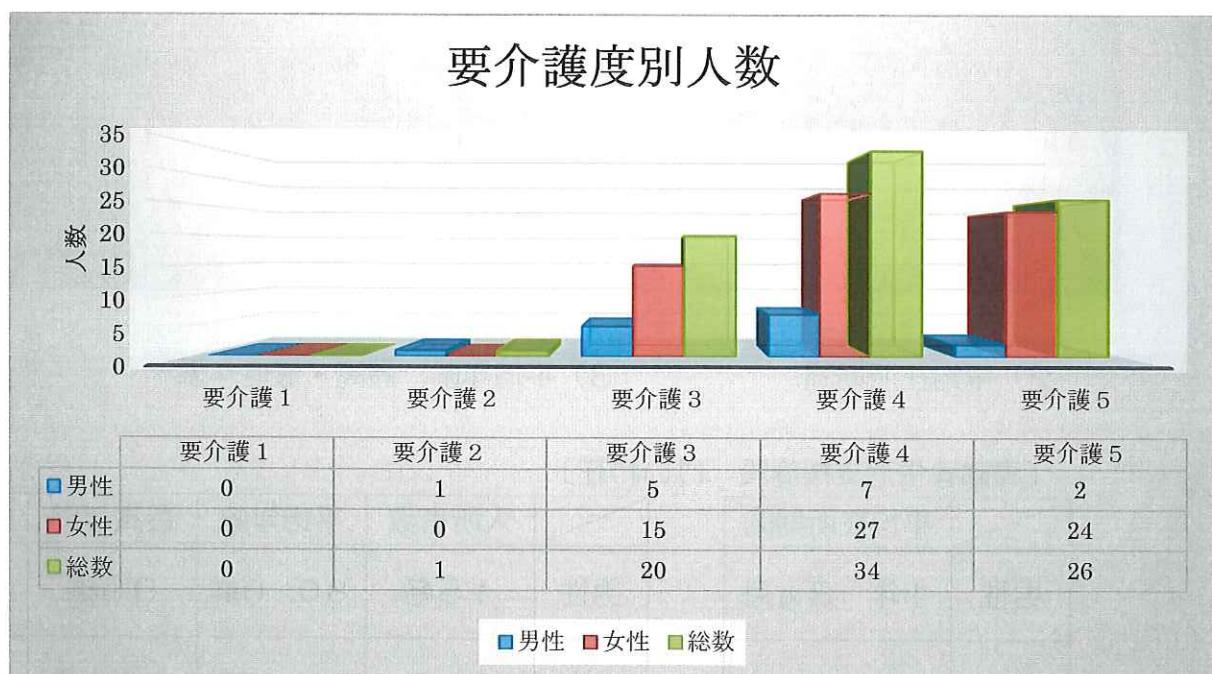
	平均所在期間
男性	3年 11 カ月
女性	2年 3カ月
平均	3年 1 カ月

	入所者数	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	2名	82.6歳	83歳	81歳
女性	15名	89.0歳	102歳	70歳
計	17名	88.4歳		

4) 介護保険 要介護度別人数

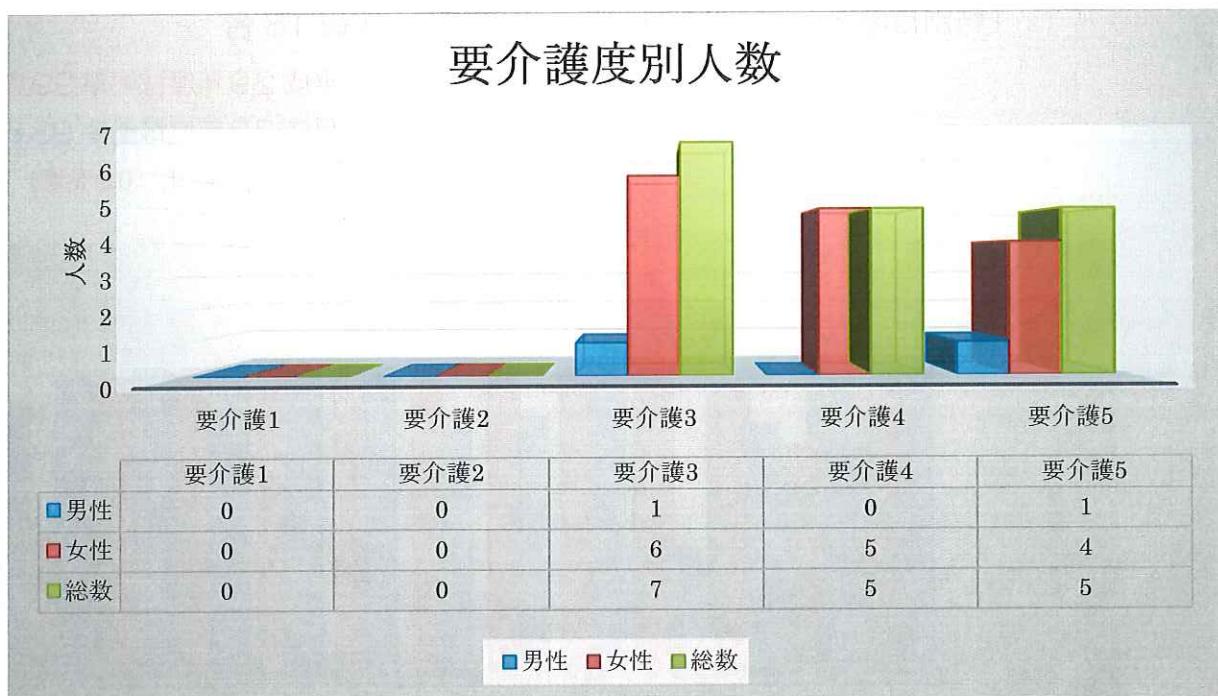
[高齢者生活支援施設 けいわ荘]

介護度	1	2	3	4	5	計	平均
男性	0	1	5	7	2	15	3.7
女性	0	0	15	27	24	66	4.1
計	0	1	20	35	26	81	4.0



[特別養護老人ホーム ユニテ けいわ]

介護度	1	2	3	4	5	計	平均
男性	0	0	1	0	1	2	3.2
女性	0	0	6	5	4	15	3.7
計	0	0	7	5	5	17	3.6



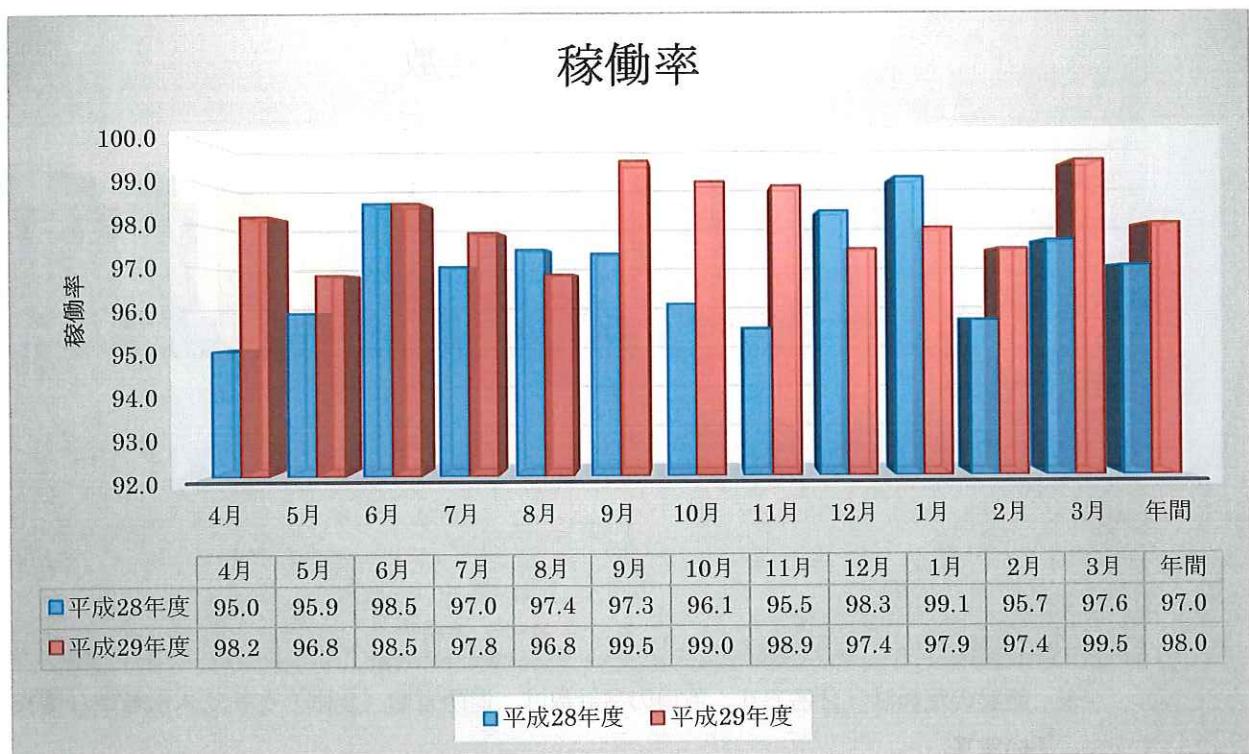
#### 5) 年間施設稼働実績表（稼働率）

〔高齢者生活支援施設 けいわ荘〕定員 82 名

平成 29 年度稼働率 98.0%

平成 28 年度稼働率 97.0%

(前年度比 1.0%増)

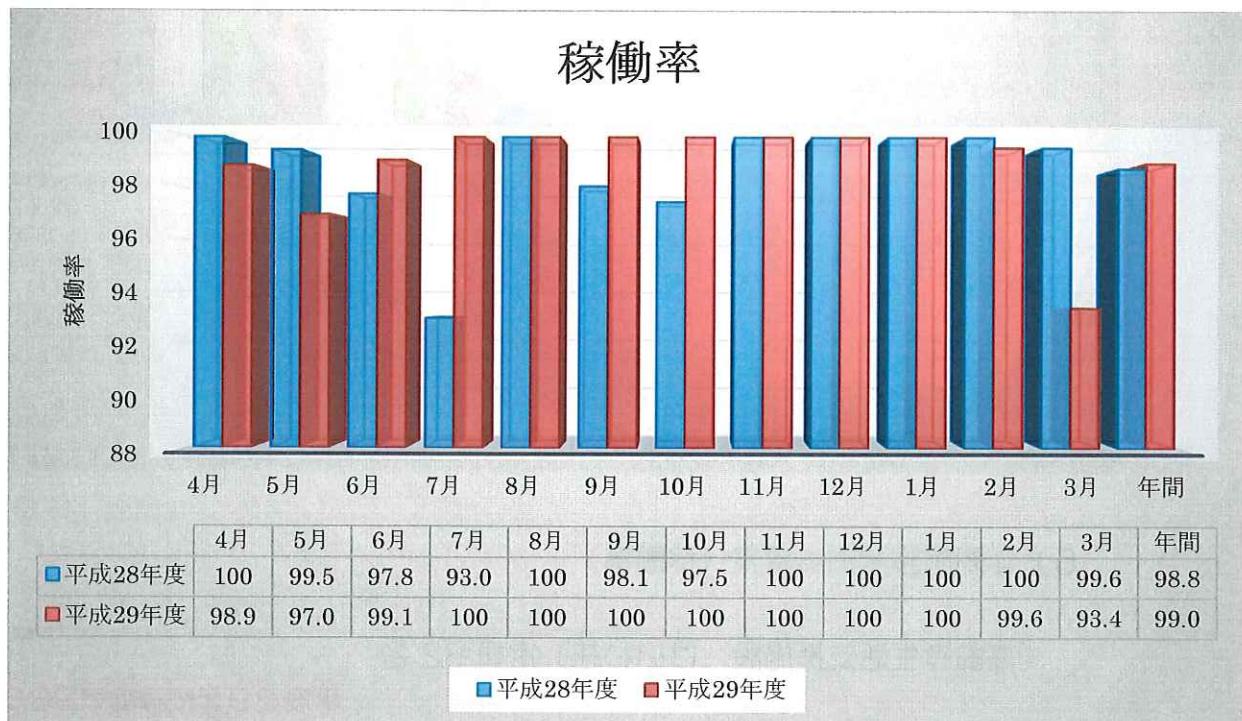


〔特別養護老人ホーム ユニテ けいわ〕 定員 18 名

平成 29 年度稼働率 99.0%

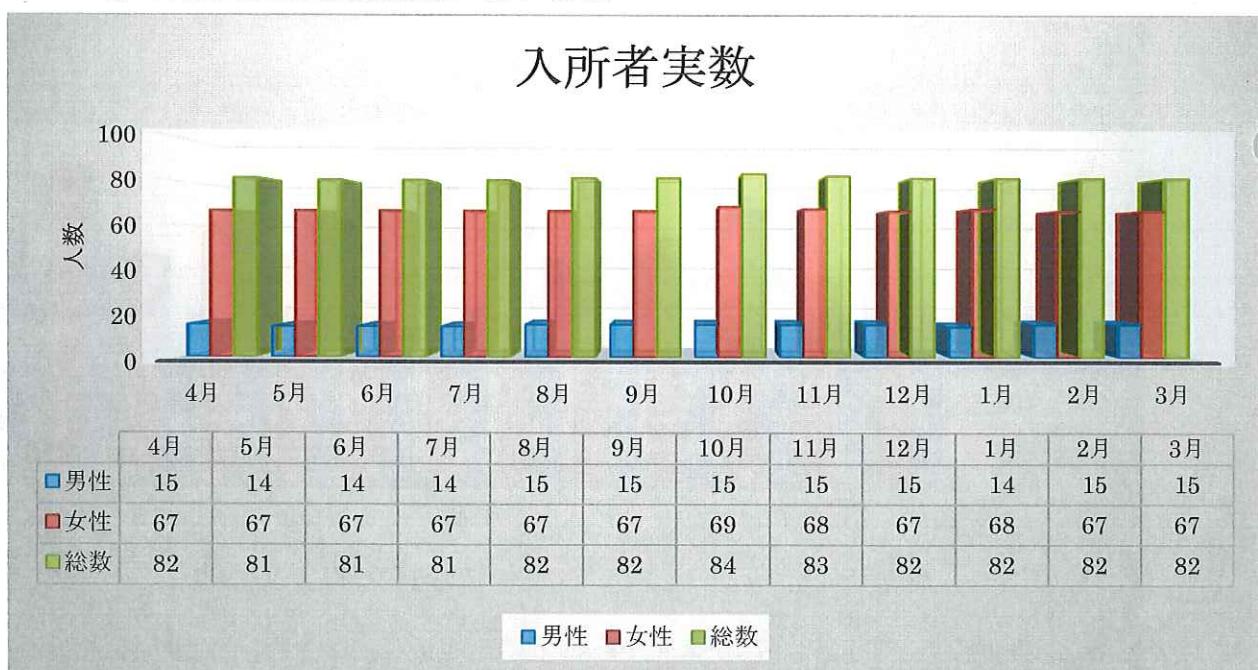
平成 28 年度稼働率 98.8%

(前年度比 0.2% 増)



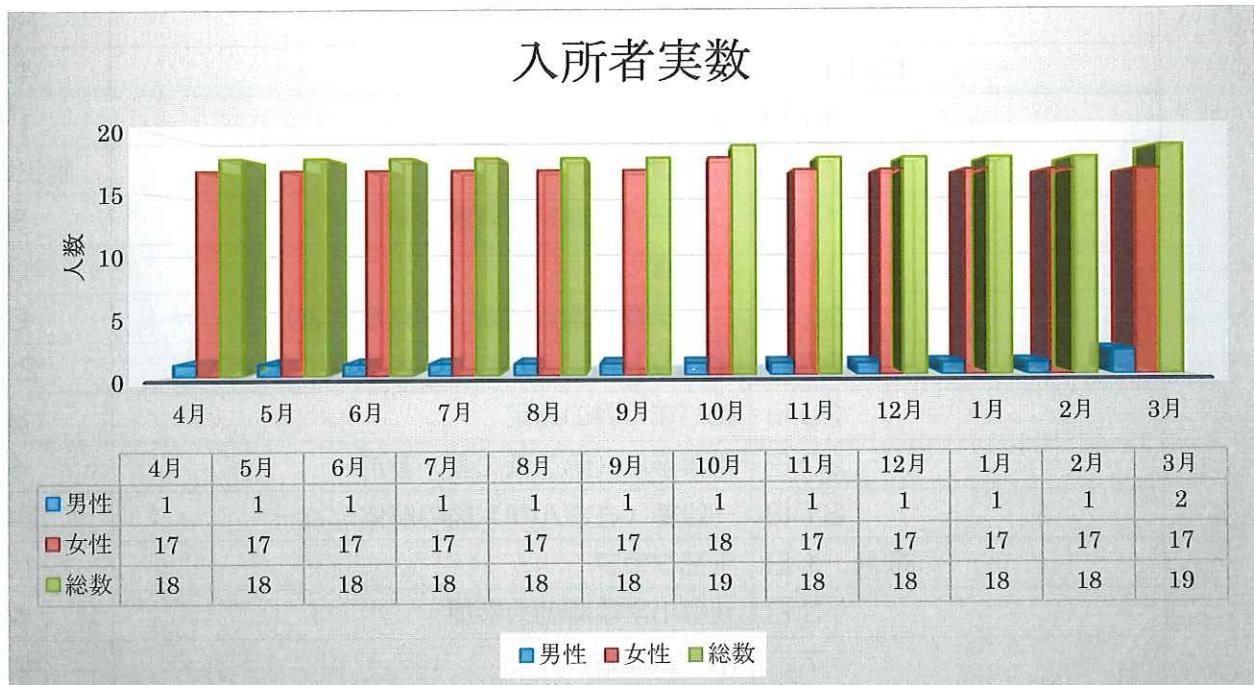
#### 6) 年間施設稼動実績表（実数）

##### ② 高齢者生活支援施設 けいわ荘



\* 施設の定員は 82 名です。各月の合計数は、退所者数（永眠）と新規入所者数が重複加算されています。

⑤ 特別養護老人ホーム ユニテ けいわ



※ 施設の定員は18名です。各月の合計数は、退所者数（永眠）と新規入所者数が重複加算されています。

7) クラブ活動実績表

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
音楽療法	175	153	235	185	214	246	188	195	227	219	161	219	2,417
踊り	29	27	27	26	28			29			31		197
生 花	27	26	27	24	27	26	27	27	27	27	27	30	322
合 計	231	206	289	235	269	272	215	251	254	246	219	249	2,936

8) 行事報告

実施日	行事名	参加人数
平成 29 年 4 月 2 日	ユニテお花見	18名
3 日	入社式	3名
3 日	陽だまりお花見	30名
5 日	ホーム喫茶	45名
5 日	生活排水説明会	5名
6 日	生花クラブ	10名
13 日	4月誕生会	誕生者 12名
20 日	陽だまりスイーツバイキング	30名
21 日	ユニテ（ひまわり）おやつ作り	9名
21 日	ユニテ（さくら）餃子作り	9名

25日	行事食	100名
26日	消防訓練	30名
5月 10日	ホーム喫茶	43名
11日	生花クラブ	10名
15日	5月誕生会	誕生者 6名
17日	ユニテ春の遠足（麻溝公園）	8名
18日	行事食	105名
22日	ユニテ春の遠足（新江ノ島水族館）	6名
23日	イベント食（えがりて）寿司バイキング	25名
29日	陽だまり春の遠足	8名
30日	青葉祭り（第二森の里）参加	4名
31日	一般棟（さざんか）魚の解体ショー	24名
6月 1日	生花クラブ	10名
3日	荻野小学校運動会参加	4名
7日	ホーム喫茶	41名
9日	行事食	111名
12日	えがりて遠足（箱根花紋）	15名
12日	陽だまり遠足	8名
14日	えがりて遠足（箱根花紋）	15名
21日	6月誕生会	誕生者 13名
28日	イベント食（ひまわり）ラーメン	9名
12日～23日	現場実習（県立えびな支援学校）	1名
14日	一般棟（コスモス）天ぷらバイキング	28名
15日	陽だまり初夏のフルーツバイキング	30名
16日	ユニテ（さくら）デザートバイキング	9名
21日	6月誕生会	10名
21日	施設内研修会	69名
28日	ユニテ（ひまわり）イベント食	8名
7月 5日	ホーム喫茶	35名
5日	行事食	104名
6日	生花クラブ	11名
10日	居酒屋	利用者（延数） 62名
11日	居酒屋	
12日	居酒屋	
12日	一般棟（コスモス）昼食調理実演	30名
18日	7月誕生会	10名
27日	第34回納涼祭	
8月 1日～4日・7日	高校生インターンシップ（厚木清南高等学校）	1名

2日	ホーム喫茶	46名
7日	行事食	110名
13日	ユニテ夏のイベント	17名
17日	イベント食（陽だまり）夏のデザート	30名
18日	8月誕生会	誕生者9名
25日	ふれあい交流会（バーベキュー）	52名
30日	季節感のある食事会（さざんか）	28名
9月 5日	9月誕生会	誕生者 7名
5日	えがりて敬老会	24名
6日	ホーム喫茶	39名
19日	ドライブ（コスモス）	2名
25日	デザートバイキング（コスモス）	29名
10月 13日	おやつ作り（ユニテひまわり）	9名
14日	けいわ荘運動会（於、多目的ホール）	56名
16日	10月誕生会	誕生者 7名
17日	秋の遠足（ユニテさくら・ひまわり）	3名
18日	ホットケーキ作り（ユニテさくら）	9名
23日	秋の遠足（ユニテさくら・ひまわり）	3名
27日	喫茶（陽だまり）秋のフルーツバイキング	38名
28日	昼食調理実演（さざんか）	27名
30日	秋の遠足：オギノパンと宮ヶ瀬ダム（陽だまり）	6名
11月 2日	秋の遠足（ユニテさくら・ひまわり）	6名
7日	寿司バイキング（ユニテひまわり）	9名
7日	秋の遠足（えがりて）：みかん狩りと食事（甲羅）	28名
8日	11月誕生会	誕生者 12名
11日	寿司バイキング（ユニテさくら）	9名
15日	秋の遠足：オギノパンと宮ヶ瀬ダム（陽だまり）	6名
18日	外食（コスモス）ココス	2名
12月 5日	宮ヶ瀬クリスマスツリー見学（えがりて）	14名
6日	ホーム喫茶	38名
8日	宮ヶ瀬クリスマスツリー見学（特養）	8名
13日	クリスマス会（さざんか）	24名
14日	12月誕生会	誕生者 6名
16日	クリスマス会（コスモス）	26名
18日	クリスマス会（ユニテひまわり）	9名
19日	クリスマス会（陽だまり）	30名
20日	クリスマス会（ユニテさくら）	9名
20日	クリスマス会（えがりて）	25名

28 日	餅つき大会	43 名
平成 30 年 1 月 10 日	ホーム喫茶（初釜）	39 名
12 日	どんど焼き	48 名
17 日	1 月誕生会	誕生者 16 名
19 日	ユニテ（初詣：寒川神社）	4 名
2 月 2 日	節分（ユニテ：さくら・ひまわり）	18 名
3 日	節分（さざんか・コスモス）	52 名
5 日	初詣（寒川神社）	17 名
7 日	ホーム喫茶	33 名
9 日	2 月誕生会	誕生者 18 名
26 日	イベント食（屋台）	29 名
28 日	寿司バイキング（コスモス）	30 名
3 月 7 日	ホーム喫茶	41 名
9 日	雛人形作り（ケアハウスえがりて）	27 名
14 日	ボランティア親睦会（於、アーバンホテル）	71 名
15 日	3 月誕生会	誕生者 12 名
31 日	餃子作り（ユニテひまわり）	9 名

## 9) 諸会議

### (a) 委員会

	労働安全衛生	身体拘束廃止	接遇	施設研修	事故防止	感染症	ICT	マニュアル
年間実施回数	12	3	4	10	4	6	8	11

### (b) 生活支援課委員会

	入退所	給食	ふれあい
年間実施回数	12	12	5

### (c) 行事実行委員会

	納涼祭	敬老会	地域密着型 運営推進会議
年間実施回数	2	2	3

## ② 地域交流実績

### 1) 大学教員志望介護実習生受入れ

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
神奈川工科大学	10	明星大学	1
日本女子体育大学	2	東京家政学院大学	1
國學院大學	1	津田塾大学	1
総 数		16 名	

### 2) 介護実習生の受入れ

学 校 名	人 数
YMCA 健康福祉専門学校	1

### 3) 看護専門学校実習生の受入れ

学 校 名	人 数
厚木看護専門学校	11

和泉短期大学	1	神奈川工科大学	18
総 数	2	総 数	29

#### 4) 慰問

団体名	人数	団体名	人数
厚木歌謡演歌協会	4	けいわ保育園	19
厚木キリスト教会	17	岡田保育園	49
尺八	5		
荻野小学校生徒	19		
ガールスカウト	14	総 数	127

#### 5) 介護体験・インターンシップ

学校名	人數
厚木市立荻野中学校	2
厚木市立小鮎中学校	2
総 数	4

#### 6) 養護学校現場実習

学校名	人數
県立伊勢原養護学校	1
県立えびな支援学校	1
総 数	2

#### ③ボランティア実績表

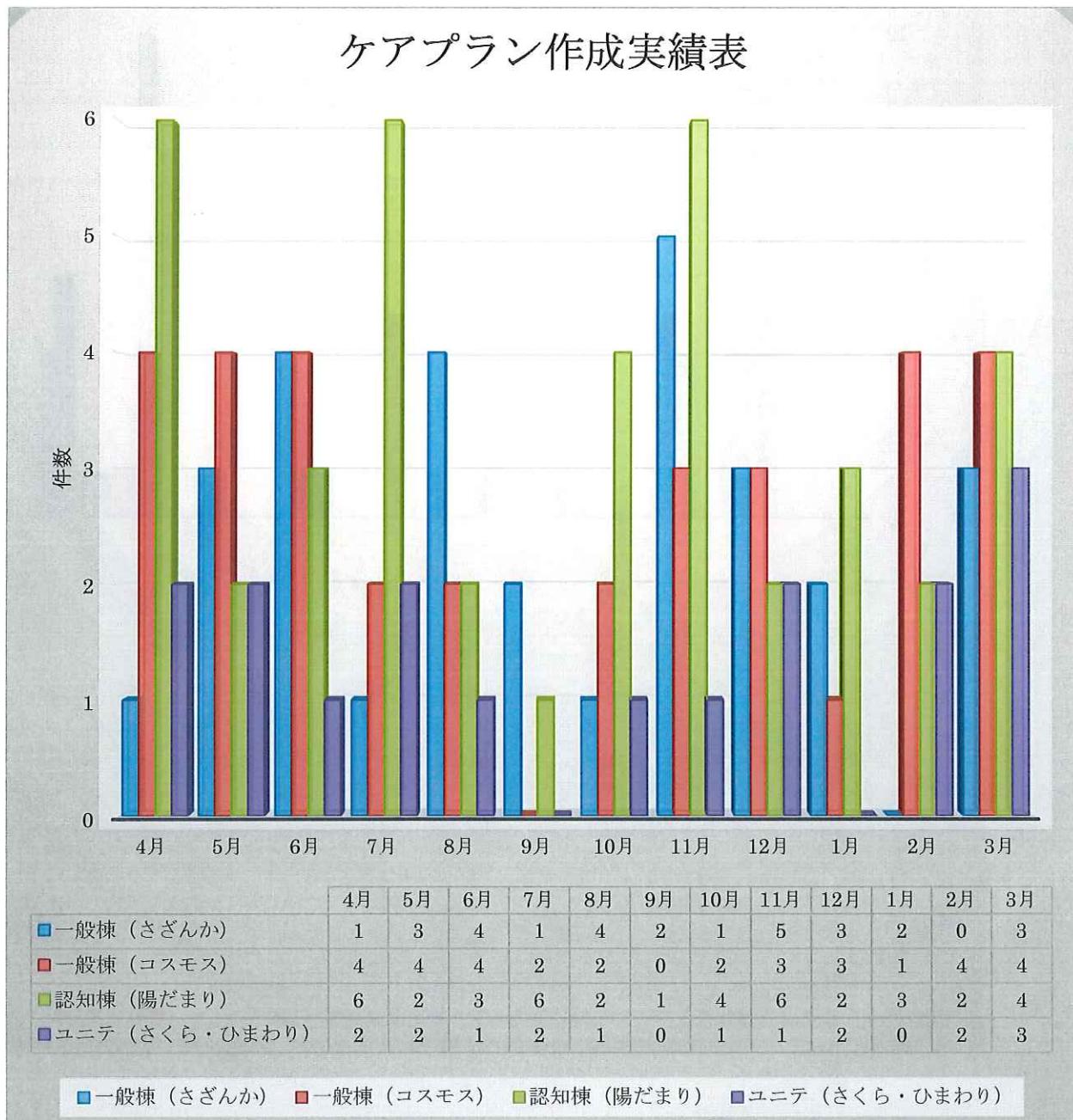
##### 1) 団体(延べ617名)

名称 月	土の会	育の会	コスモスの会	縁ヶ丘 民生	厚木北 民生	荻野民生	厚木シニア クラブ	トキの会	総数
援助内容	リネン交換 納涼祭補助	リネン交換 納涼祭補助	リネン交換 納涼祭補助	リネン交換 納涼祭補助	リネン交換 ホーム喫茶 納涼祭補助	リネン交換 納涼祭補助	縫い物 納涼祭補助	通所介護	
4	7	8	2	0	8	22	2	4	53
5	5	7	2	6	5	24		4	53
6	5	7	2	0	10	15		4	43
7	7	9	2	0	10	25		4	57
8	6	6	4	6	9	21		4	56
9	6	12	4	0	10	14		4	50
10	5	10	2	0	10	21		5	53
11	8	10	4	6	16	20		4	68
12	7	10	4	0	7	13		4	45
1	5	5	0	0	5	33		4	52
2	7	7	3	0	9	24		4	54
3	7	7	2	0	4	9		4	33
総数	75	98	31	18	103	241	2	49	617

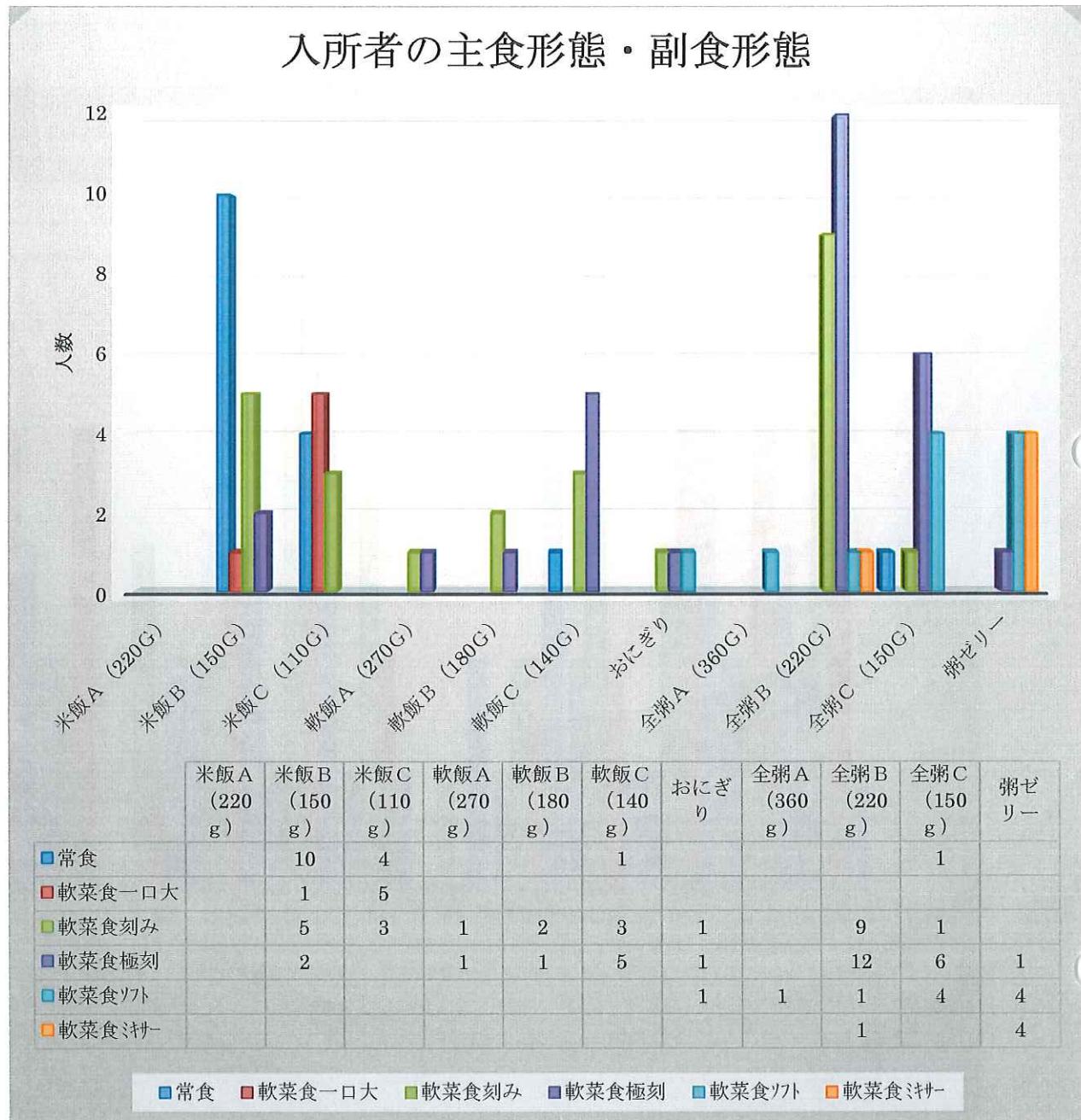
2) 個人ボランティア（延べ 143 名）

月 援助内容	傾 聽 (4名)	車椅子清掃 (3名)	よもやま 話 (1名)	理 容 (1名)	盆踊りの 練習 (1名)	生 花 (3名)	総 数
4	6	3	2	0	1	3	15
5	3	3	2	1	1	3	13
6	6	3	0	0	1	3	13
7	3	3	0	1	1	3	11
8	3	3	0	0	1	3	10
9	5	3	1	1	0	3	13
10	2	3	2	0	0	3	10
11	5	3	2	1	0	3	14
12	3	3	1	0	0	3	10
1	3	3	2	0	1	3	12
2	3	1	2	0	1	3	10
3	5	3	1	0	0	3	12
総 数	47	34	15	4	7	36	143

## 【施設ケアマネジャー】



【栄 養】



※経管栄養 1名

## 2. 地域支援課

### 事業総括

利用者が住み慣れた地域の中で、いつまでも自立して、健やかに安心・安全な生活を営むことができるよう、生活環境の整備を側面から支援するとともに、生活意欲の高揚に繋がるキメ細やかな心のこもったサービスの提供に努めてまいりました。

また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者個々人やご家族の立場に立った利用者本位のサービスの提供を実践してまいりました。

保険者、公的機関、医療機関や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携および相互連絡を積極的に実施し、ご利用者が充実した生活を送ることができるよう、総合的サービスの提供に努めてまいりました。

地域との結びつきを重視し、地域行事への参加を積極的に行うと共に、けいわ荘の知識や技術を地域福祉に還元してまいりました。

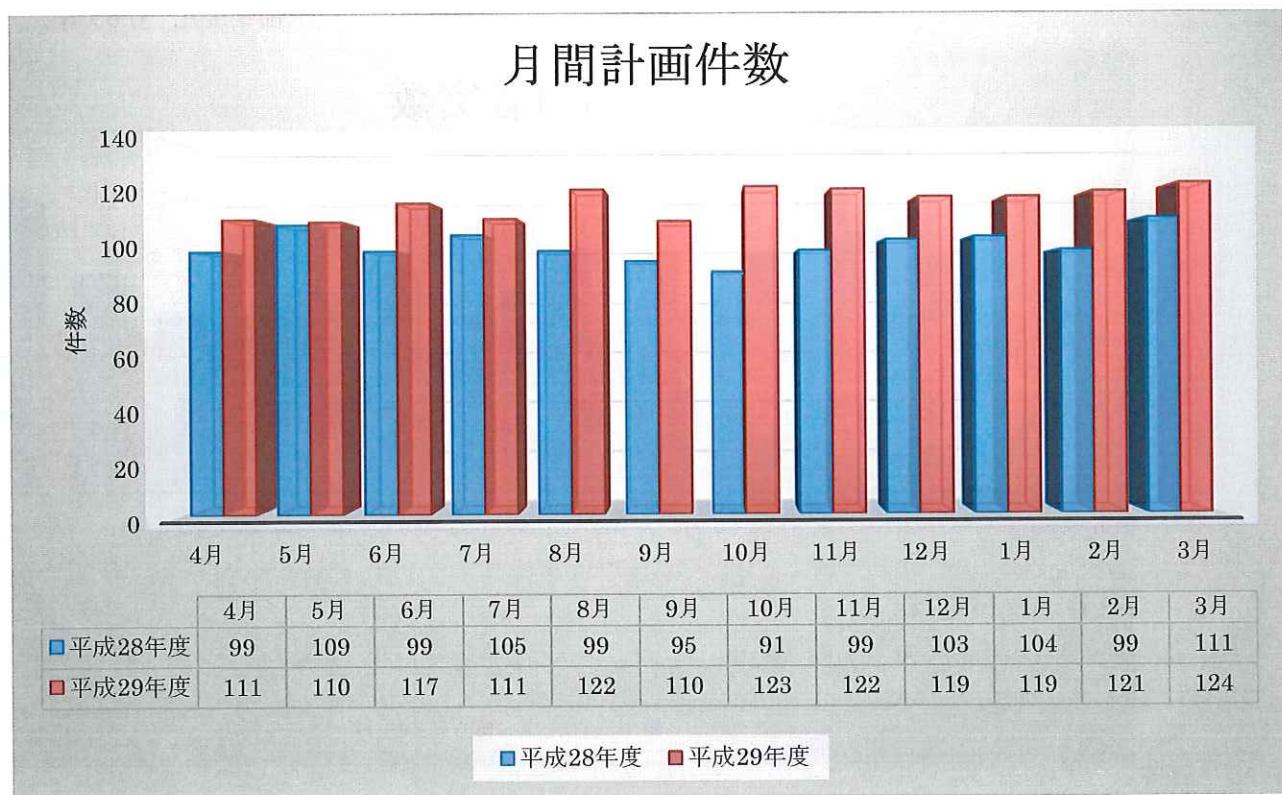
### 1) 居宅介護支援センターけいわ荘

#### I ) 居宅介護支援

平成 29 年度年間計画件数 1,409 件

平成 28 年度年間計画件数 1,213 件

(前年度比 16.2% 増)

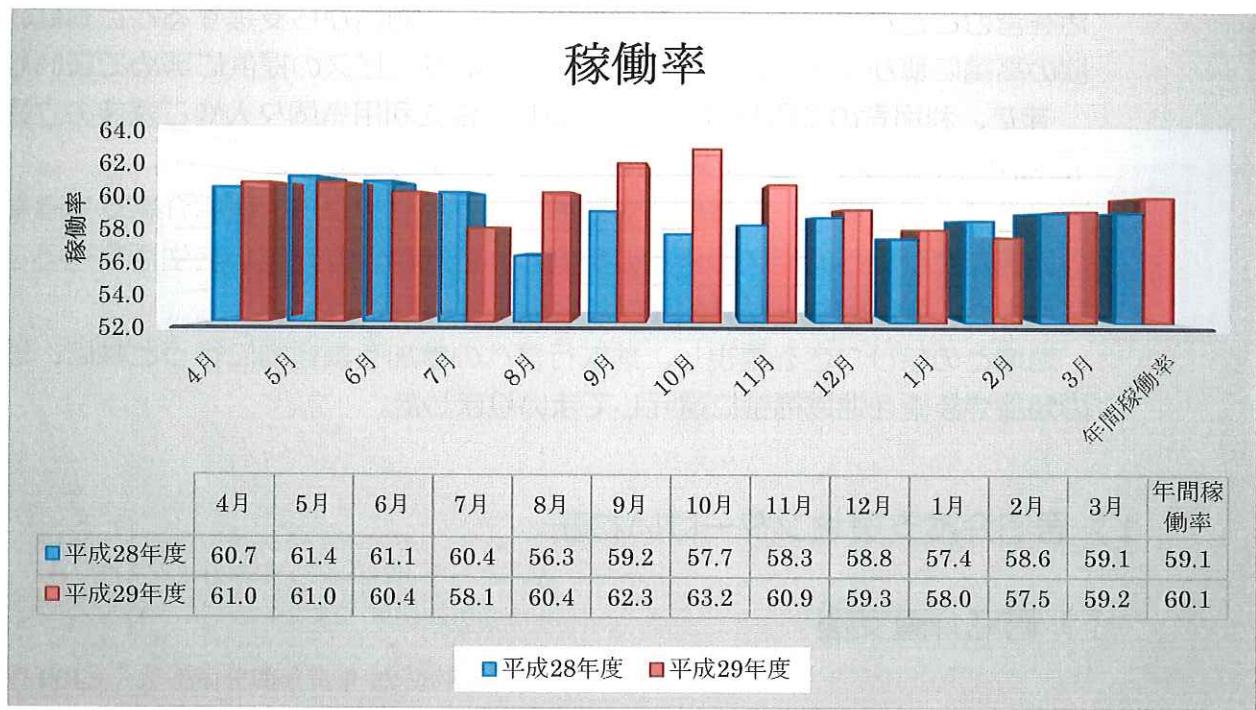


## II) 通所介護（定員 45 名/日）

平成 29 年度稼働率 60.1%

平成 28 年度稼働率 59.1%

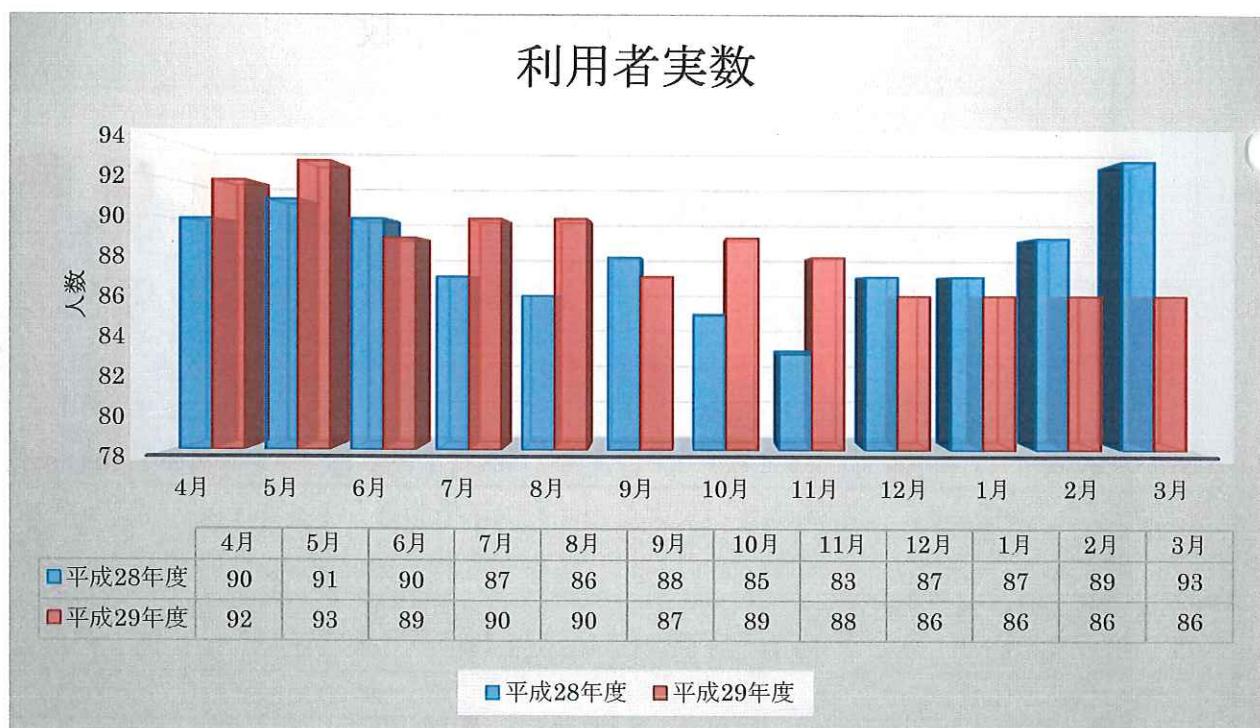
(前年度比 1.0% 増)



平成 29 年度実数 1,062 人

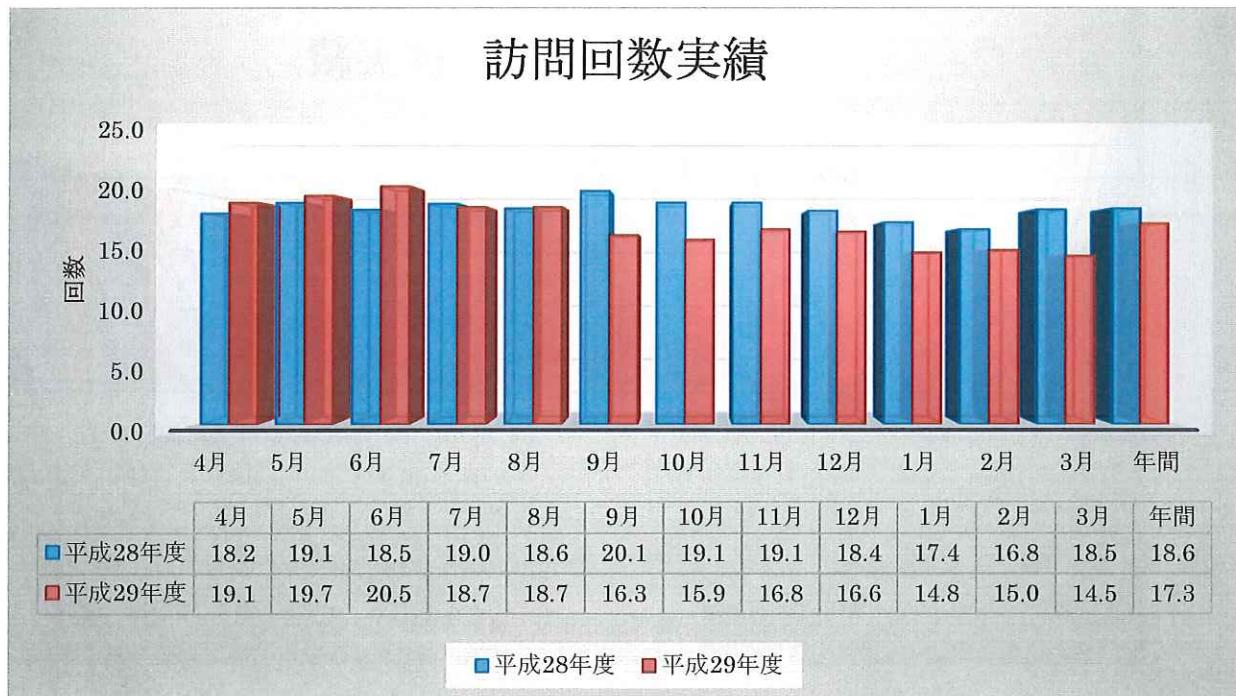
平成 28 年度実数 1,056 人

(前年度比 0.6% 増)

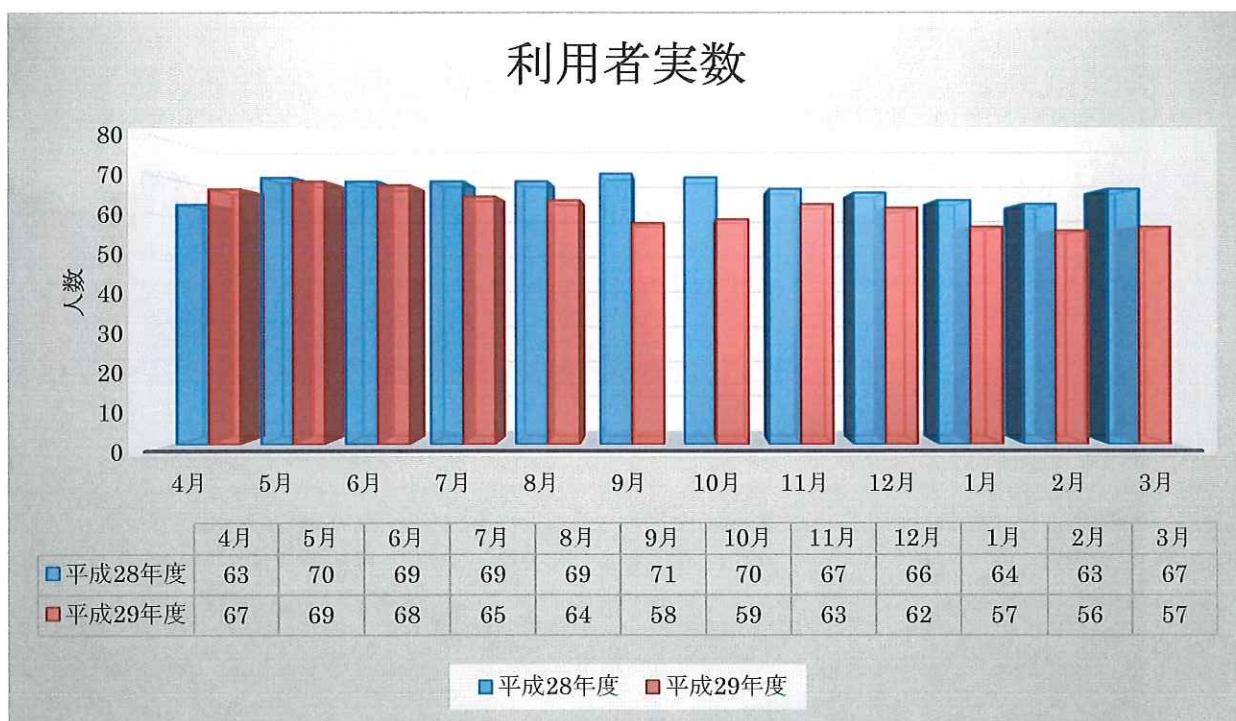


### III) 訪問介護（障害福祉を含む）

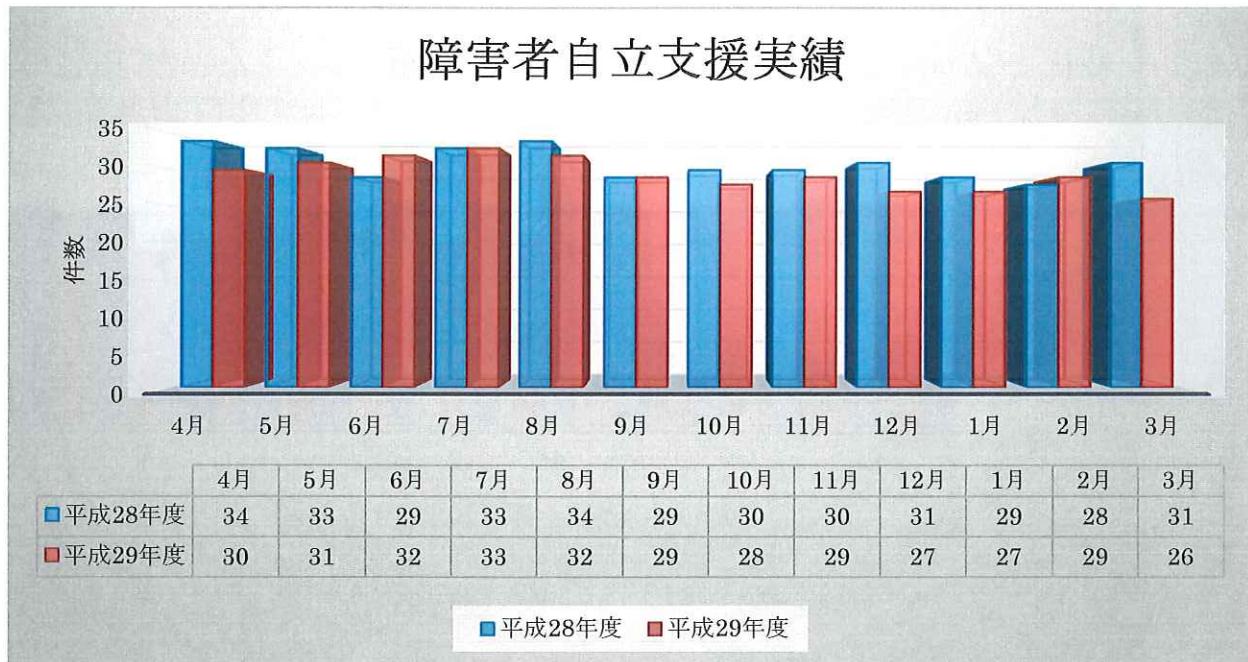
平成 29 年度延べ人数 5,332 人  
平成 28 年度延べ人数 5,736 人  
(前年度比 7.0% 減)



平成 29 年度利用者実数 761 人  
平成 28 年度利用者実数 808 人  
(前年度比 5.8% 減)

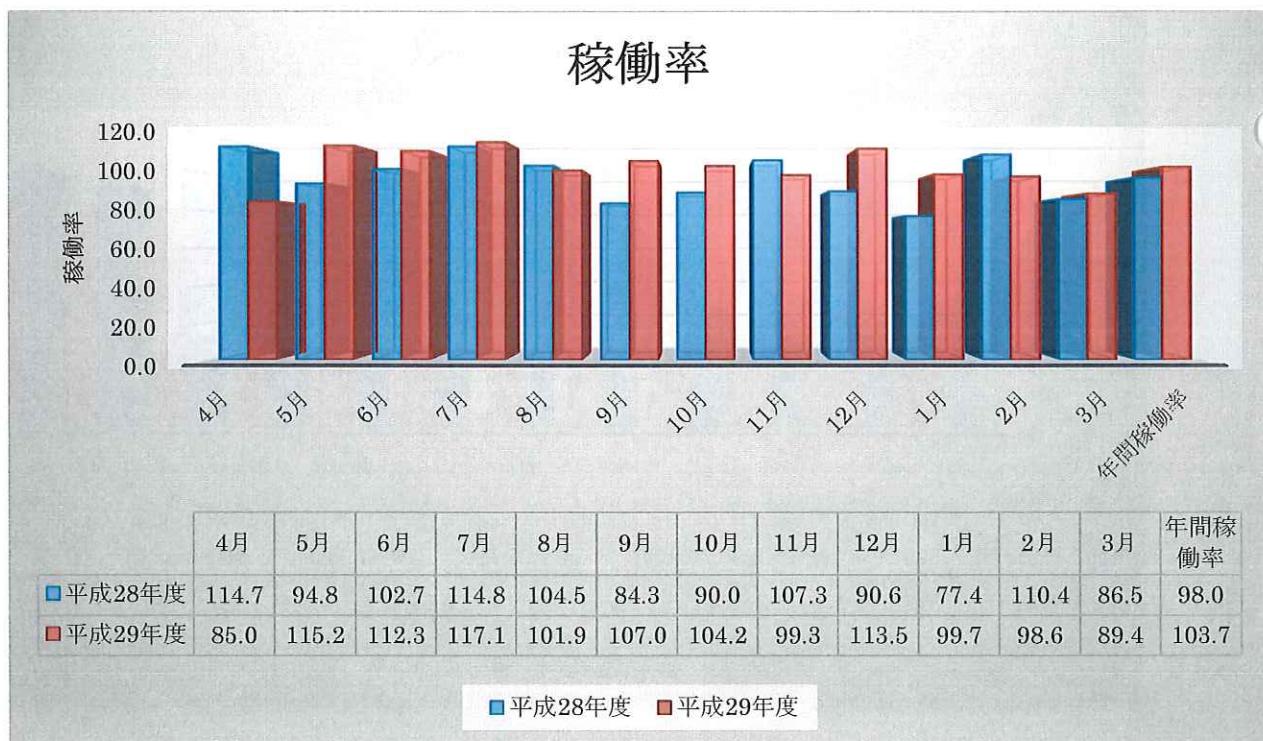


平成 29 年度件数 353 件  
平成 28 年度件数 371 件  
(前年度比 4.9% 減)

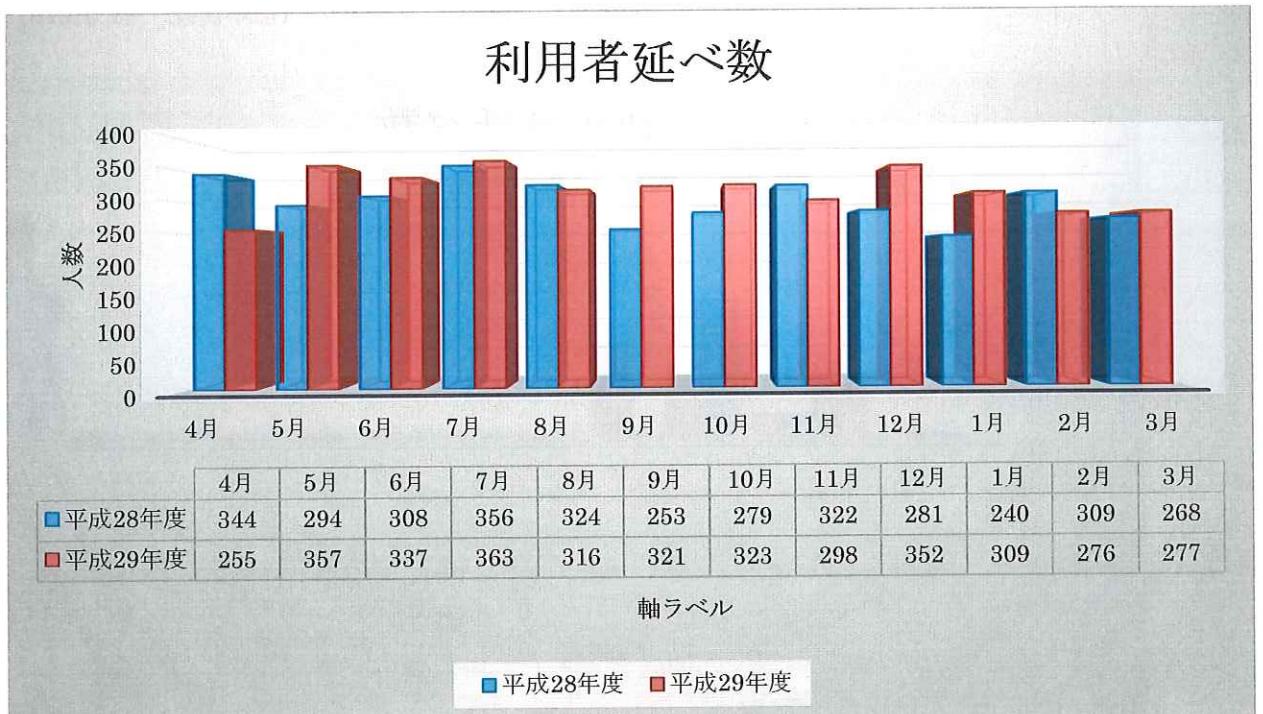


#### IV) 短期入所生活介護

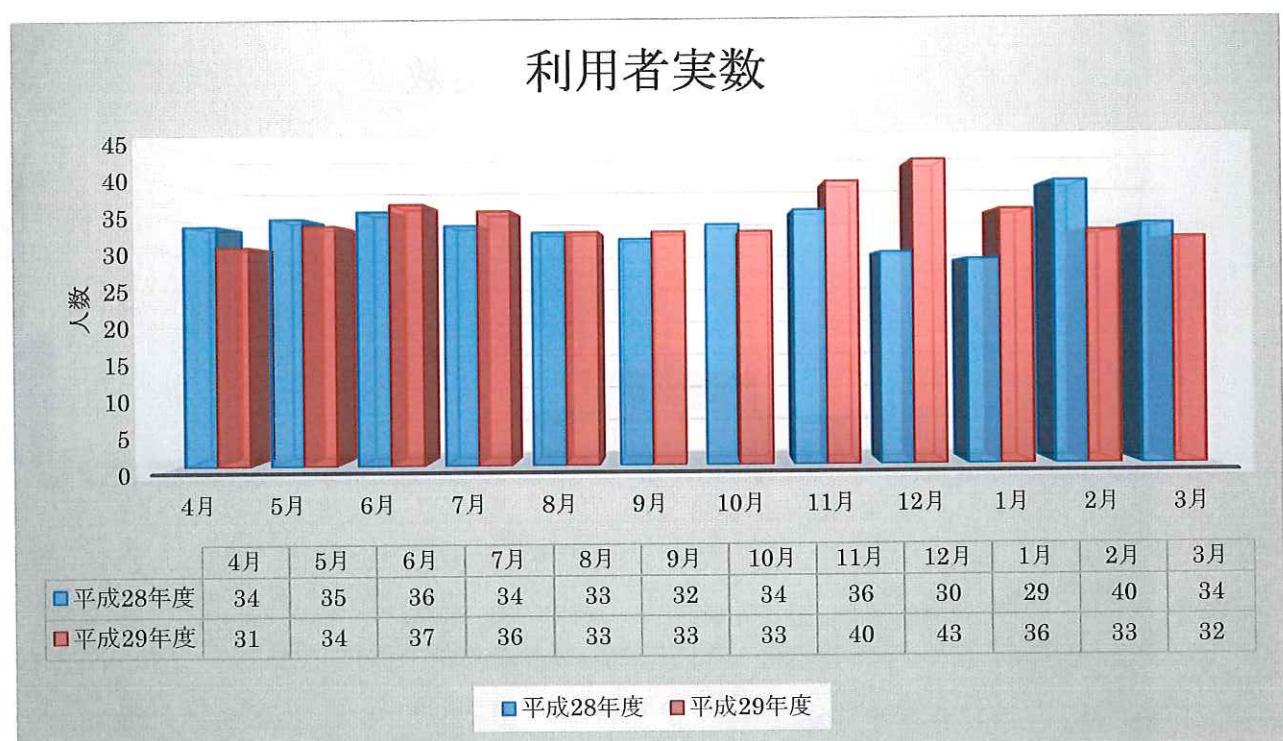
平成 29 年度稼働率 103.7%  
平成 28 年度稼働率 98.0%  
(前年度比 5.7% 増)



平成 29 年度利用者延べ数 3,784 人  
平成 28 年度利用者延べ数 3,578 人  
(前年度比 5.8% 増)



平成 29 年度年間利用者実数 421 人  
平成 28 年度年間利用者実数 407 人  
(前年度比 3.4% 増)

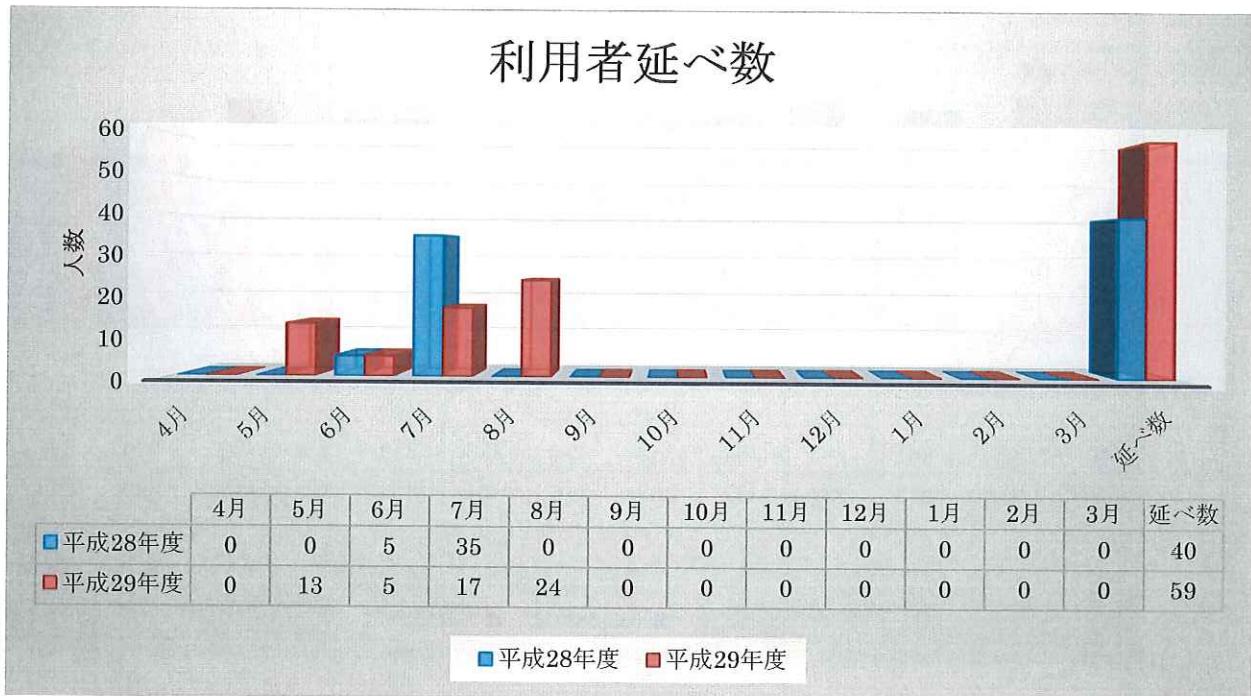


【特別養護ユニテけいわ短期入所《空床型》】

平成 29 年度延べ利用者数 59 人

平成 28 年度延べ利用者数 40 人

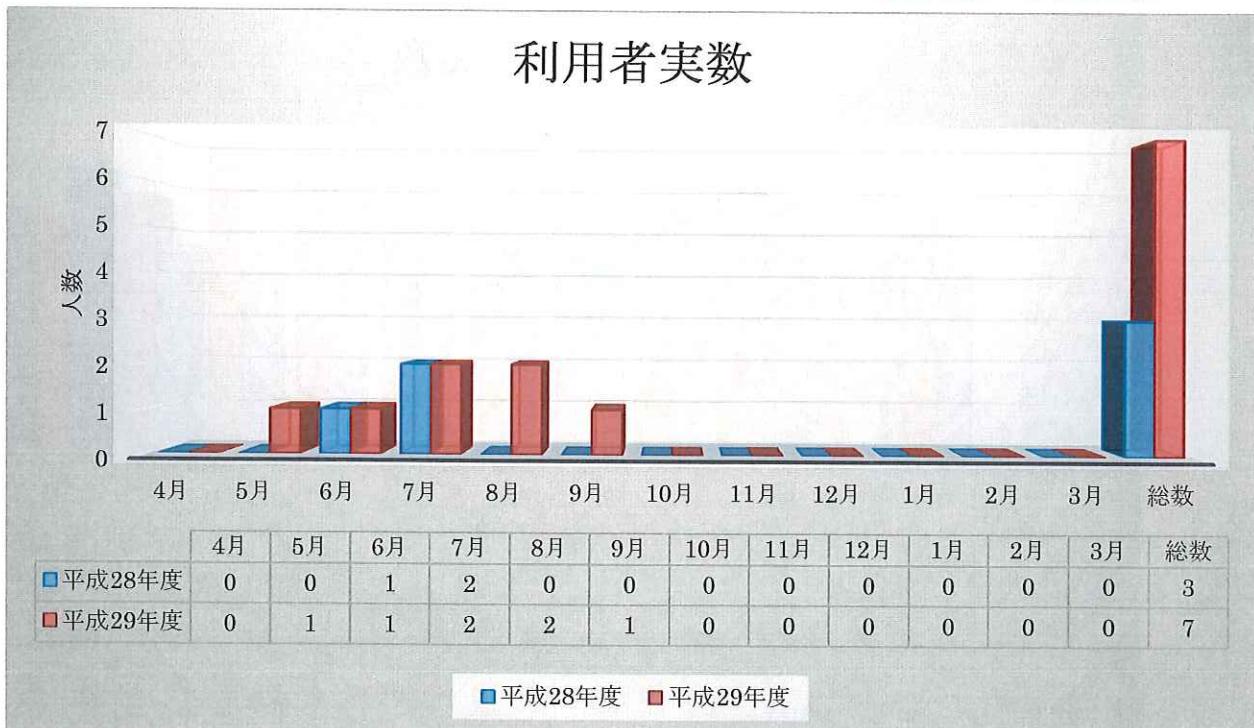
(前年度比 47.5% 増)



平成 29 年度年間利用者実数 7 人

平成 28 年度年間利用者実数 3 人

(前年度比 133.3% 増)



## 2) 地域包括支援センター

### 【実 績】

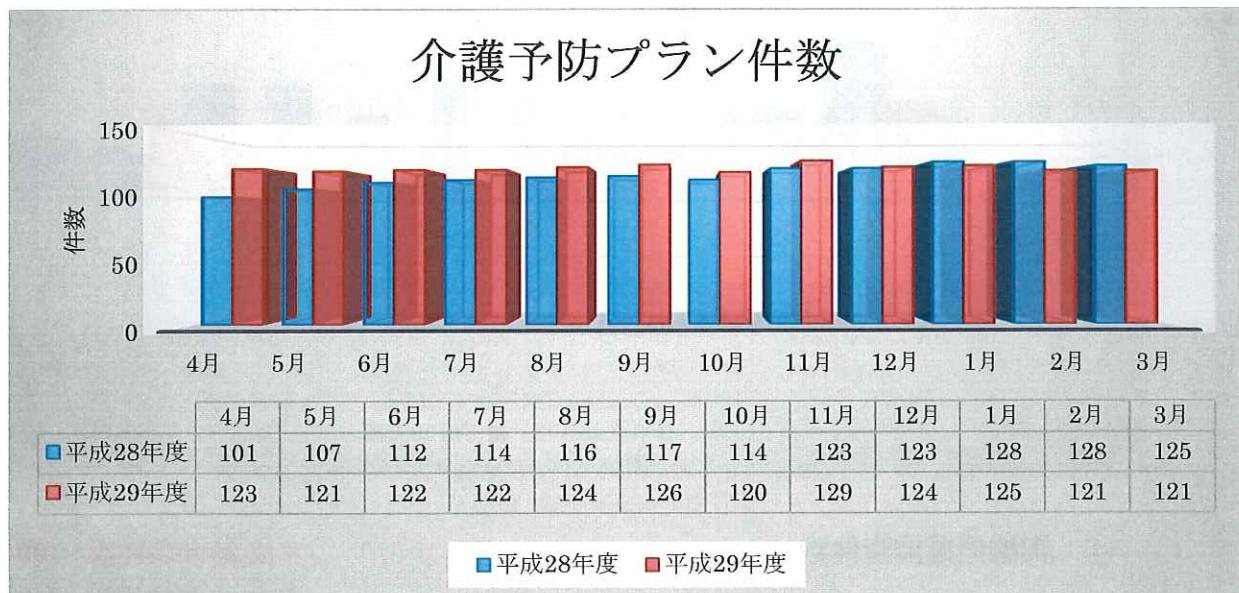
#### Ⓐ 支援件数

##### ① 介護予防プラン件数

平成 29 年度件数 1,478 件

平成 28 年度件数 1,408 件

(前年度比 5.0% 増)

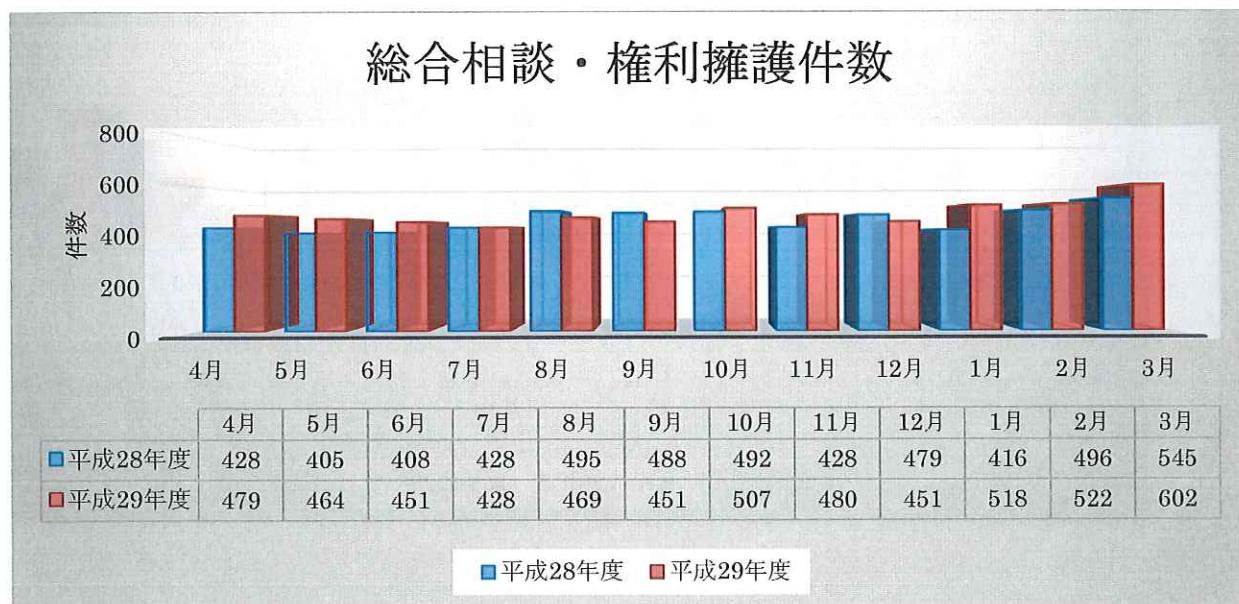


##### ② 総合相談・権利擁護件数

平成 29 年度件数 5,822 件

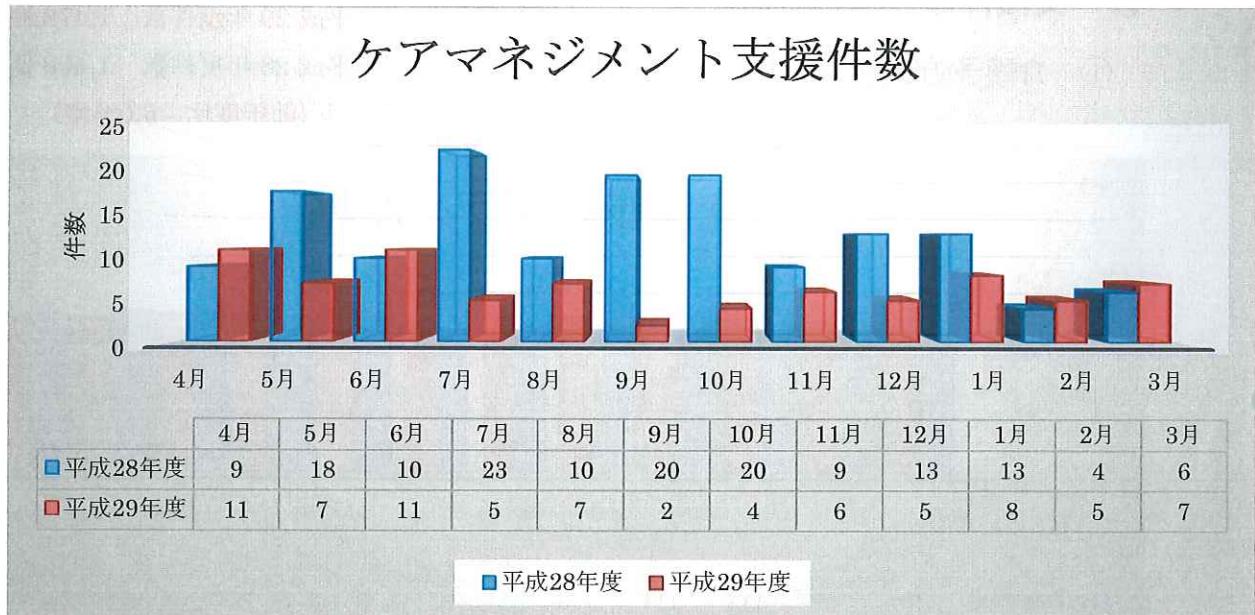
平成 28 年度件数 5,508 件

(前年度比 5.7% 増)



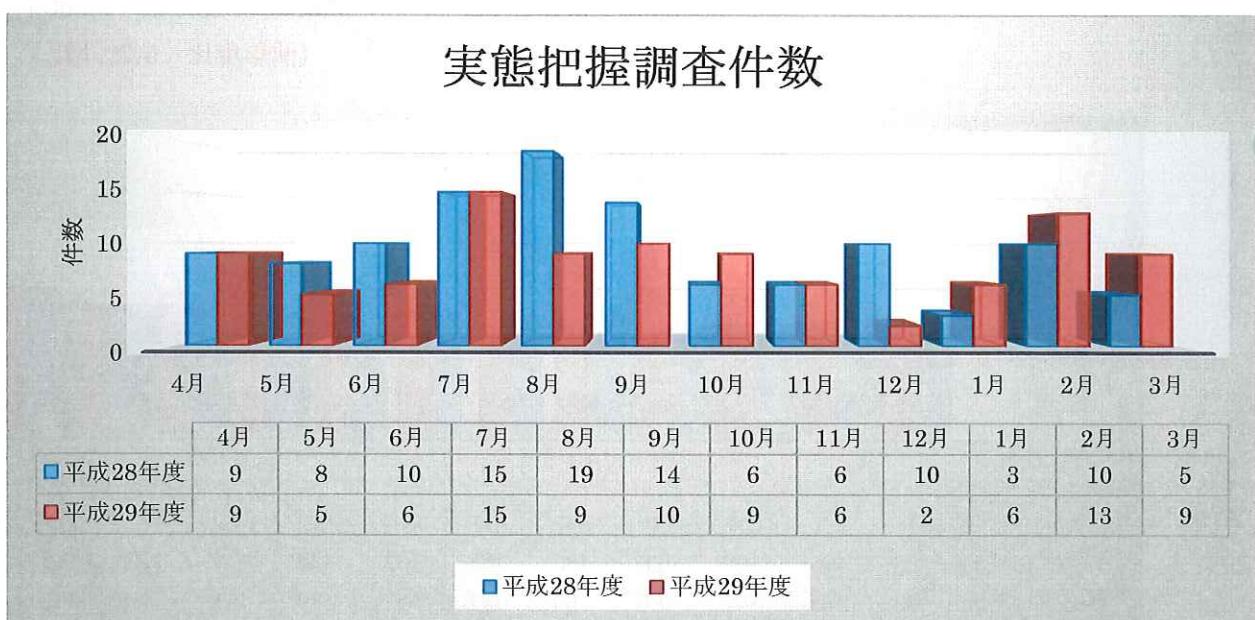
③ ケアマネジメント支援件数(ケアマネージャーの相談・支援、処遇困難事例支援)

平成 29 年度件数 78 件  
平成 28 年度件数 155 件  
(前年度比 49.7% 減)

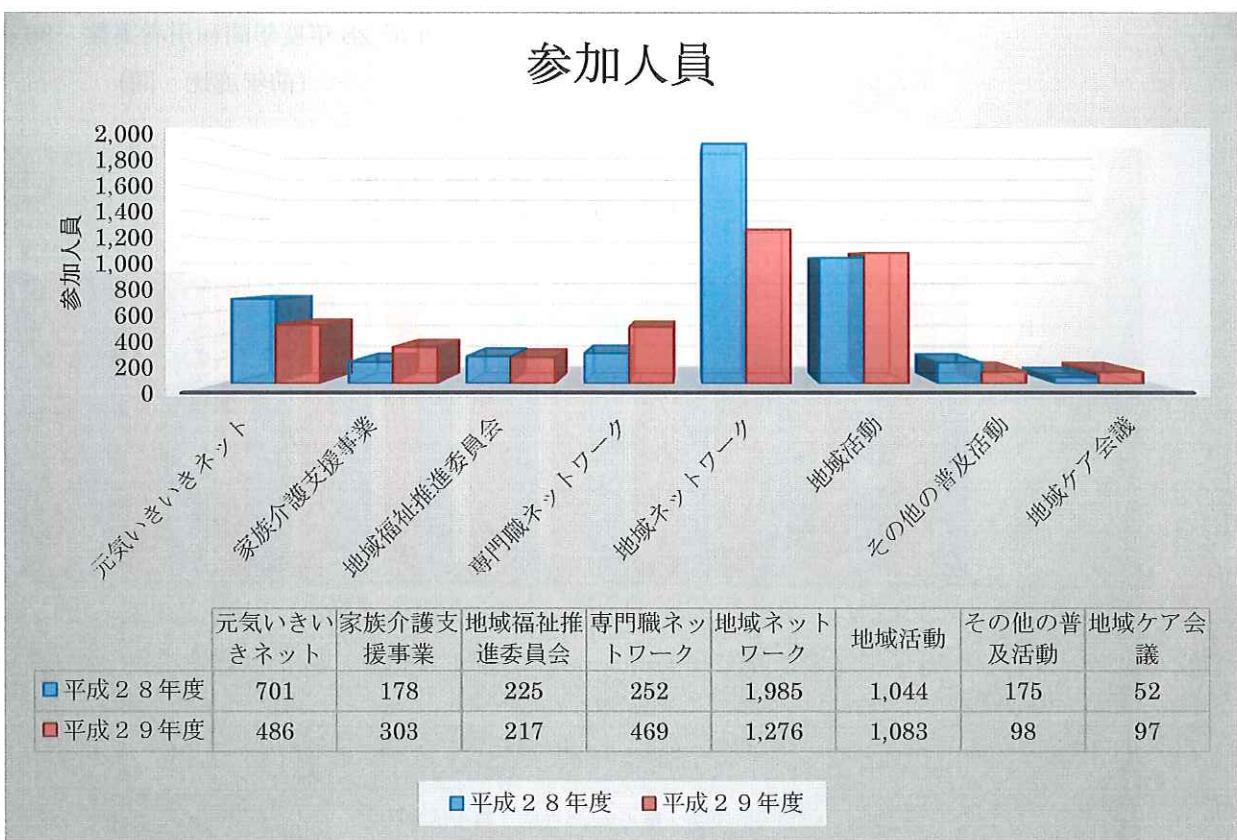
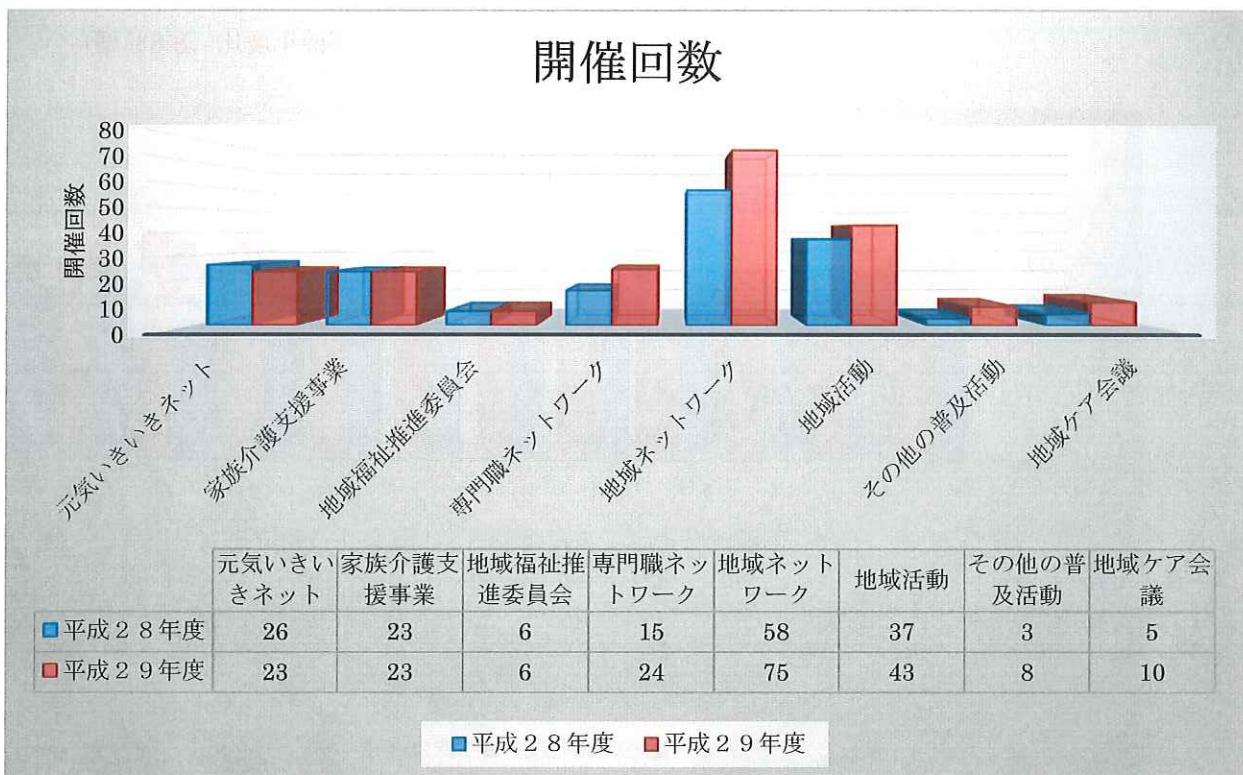


④ 実態把握調査件数

平成 29 年度件数 99 件  
平成 28 年度件数 115 件  
(前年度比 13.9% 減)

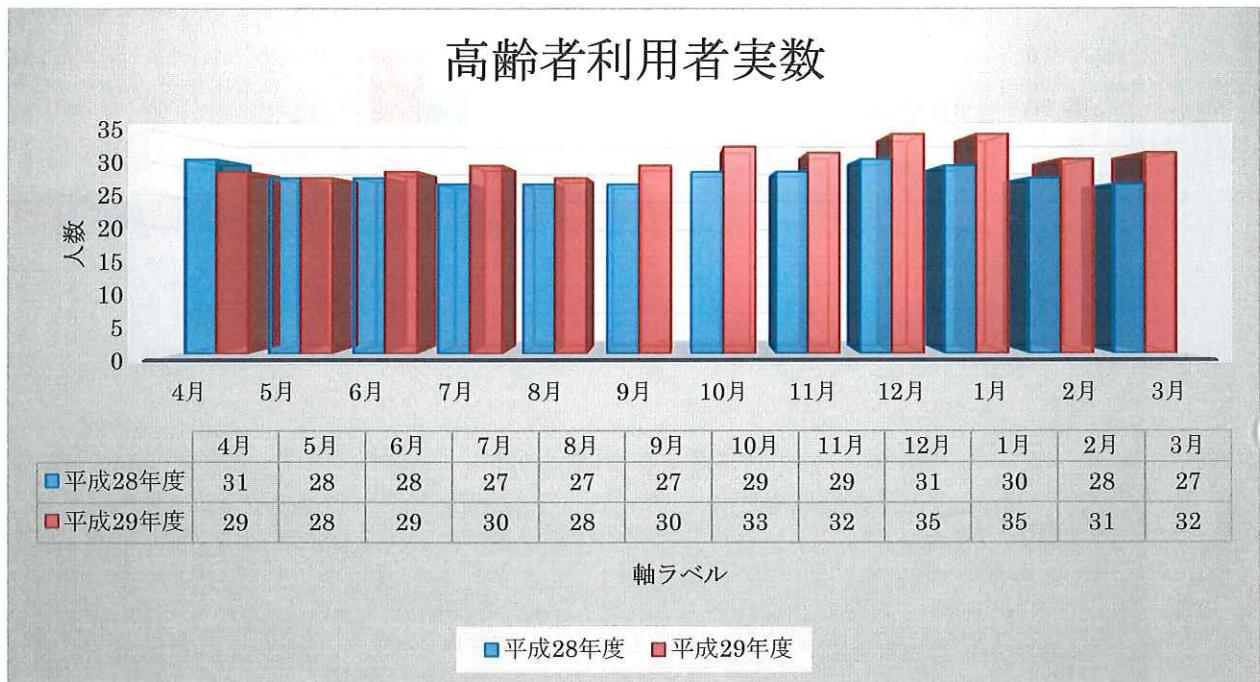


## ③ 教室・相談・会議等の活動状況

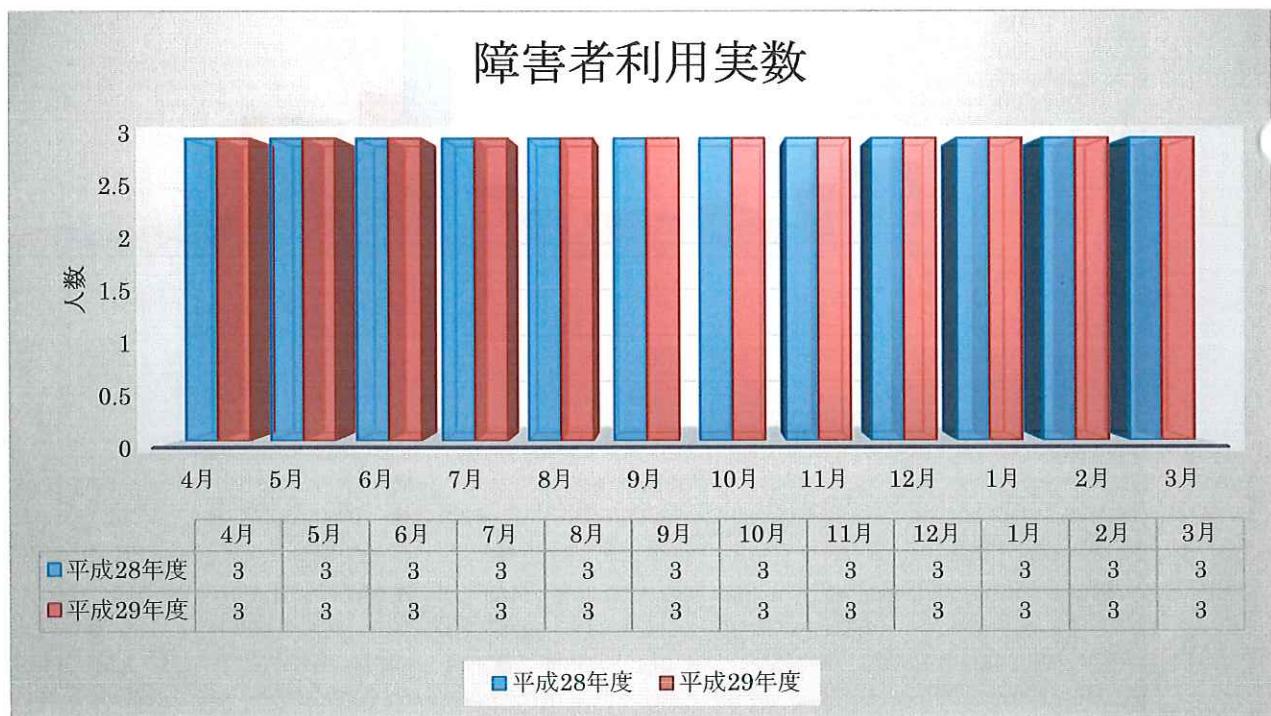


### 3) 配食サービス

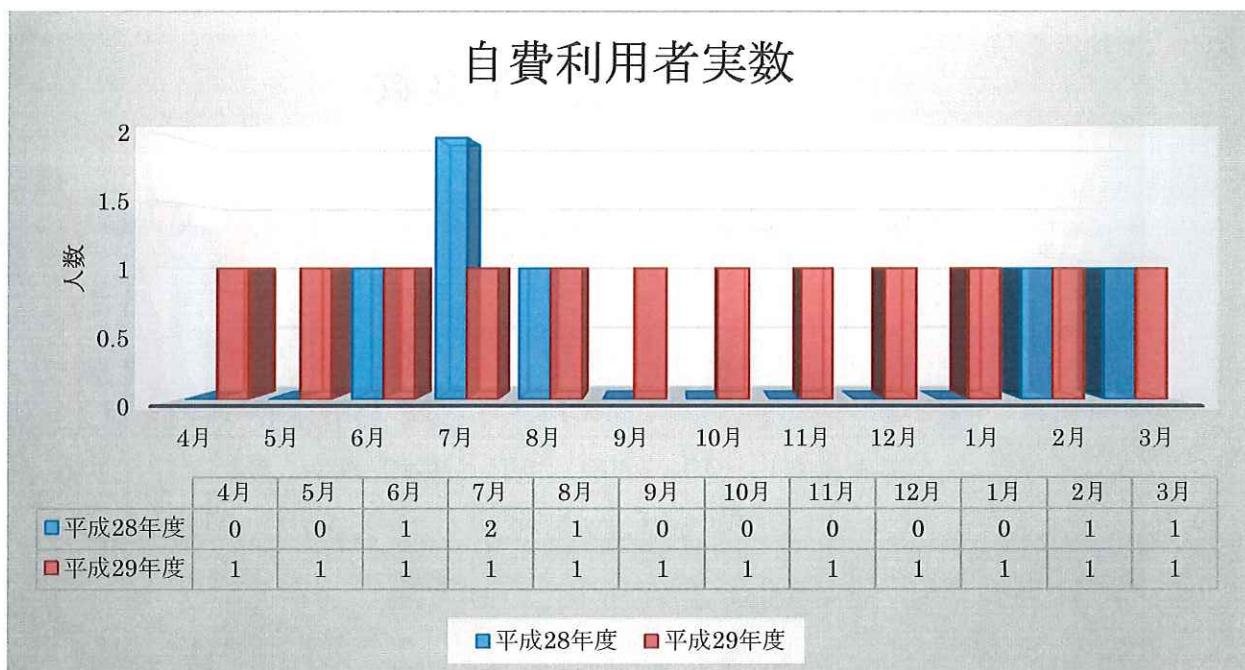
平成 29 年度年間利用者実数 372 人  
平成 28 年度年間利用者実数 342 人  
(前年度比 8.8% 増)



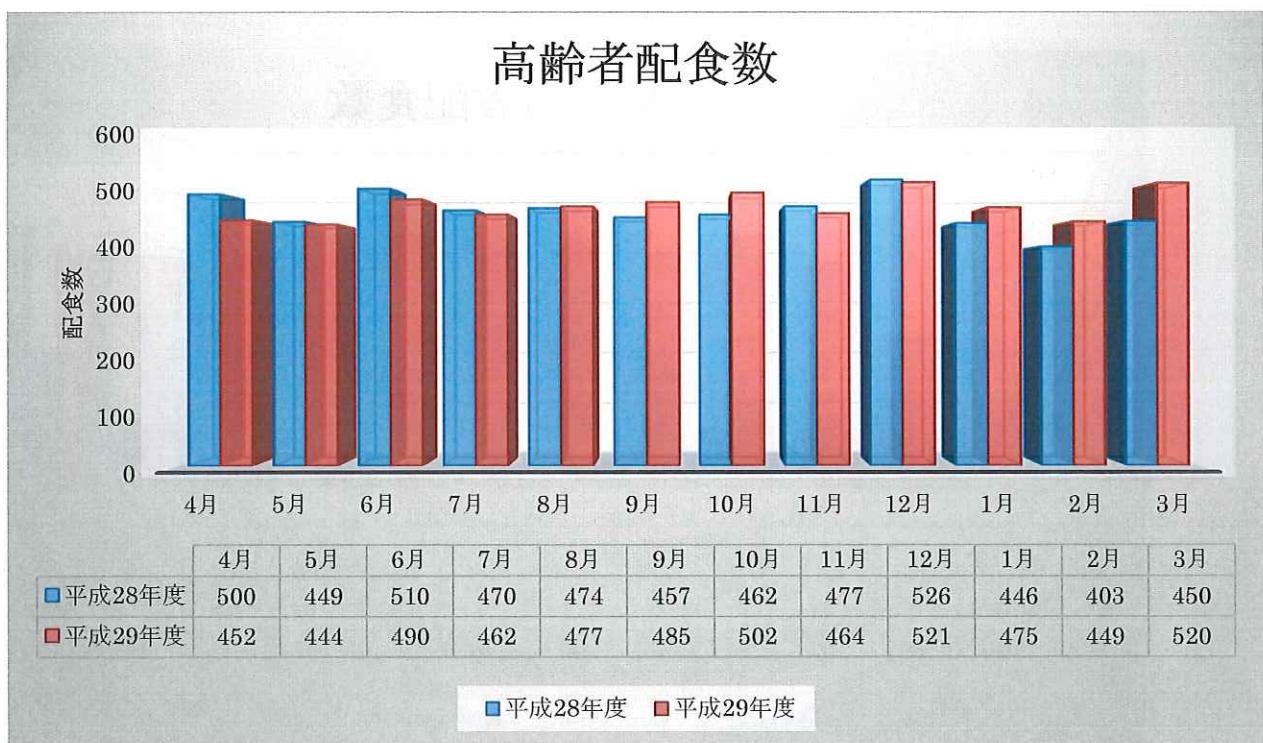
平成 29 年度年間利用者実数 36 人  
平成 28 年度年間利用者実数 36 人  
(前年度比 同)



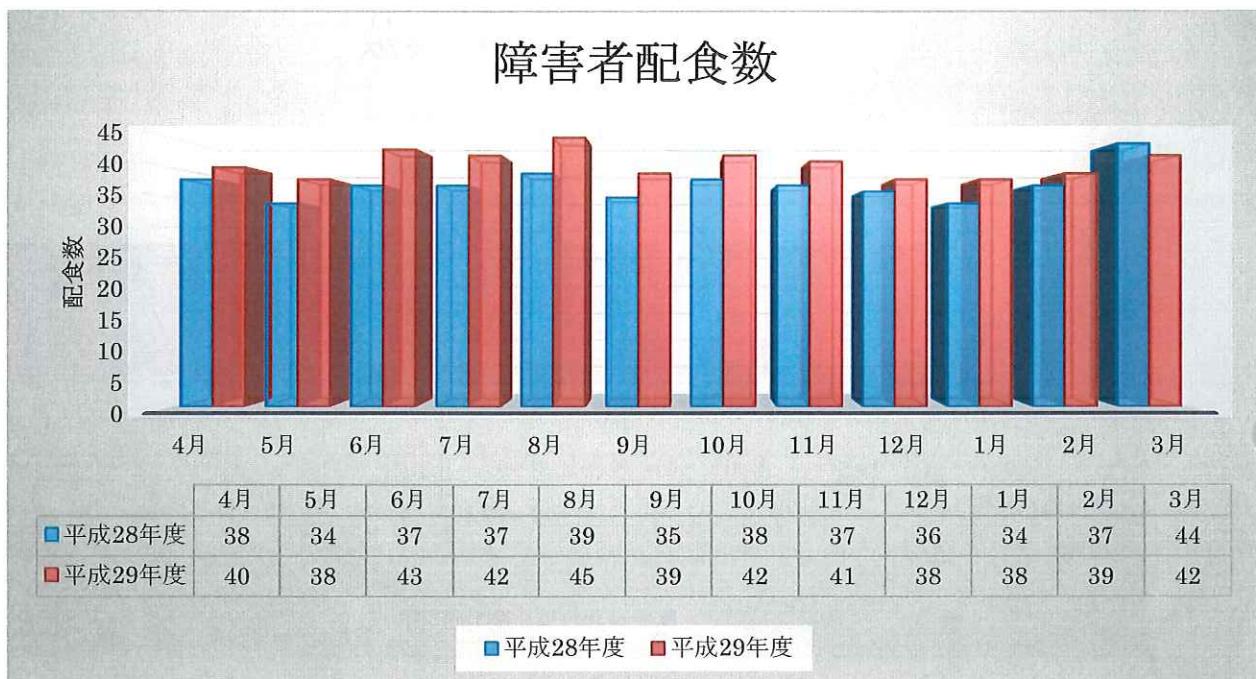
平成 29 年度年間利用者実数 12 人  
平成 28 年度年間利用者実数 6 人  
(前年度比 200% 増)



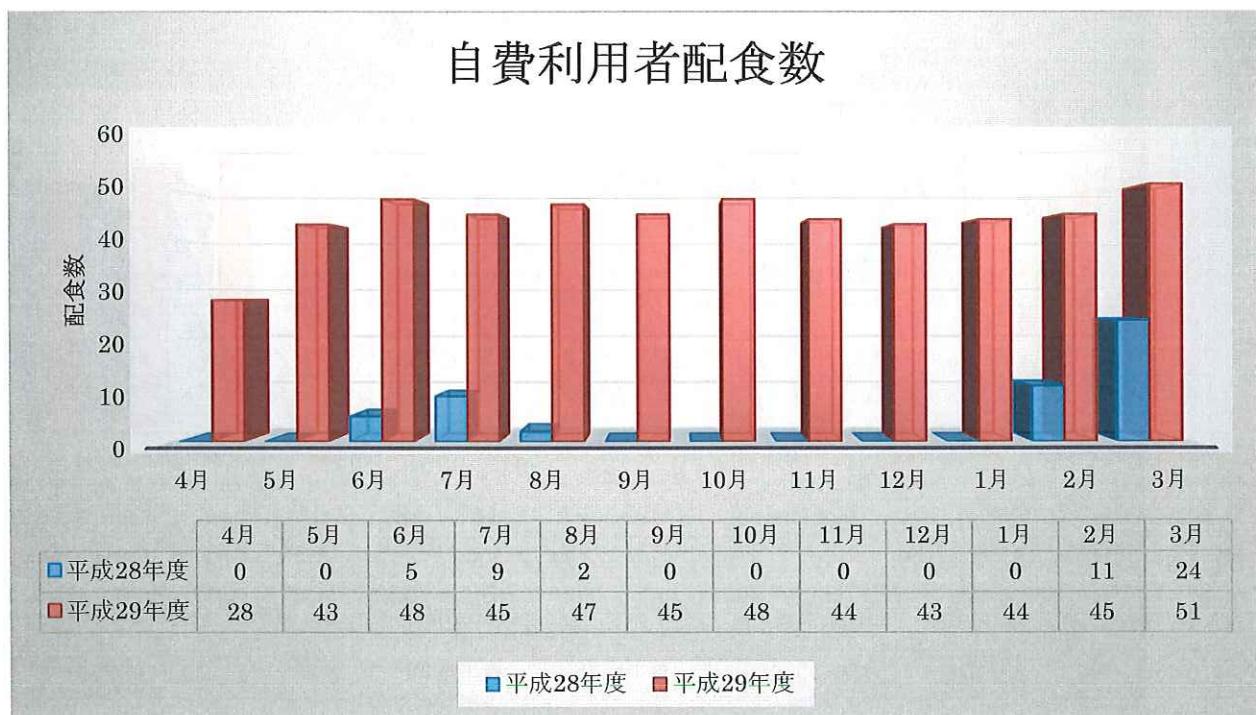
平成 29 年度年間配食数 5,741 食  
平成 28 年度年間配食数 5,624 食  
(前年度比 2.1% 増)



平成 29 年度年間配食数 487 食  
平成 28 年度年間配食数 446 食  
(前年度比 9.2% 増)



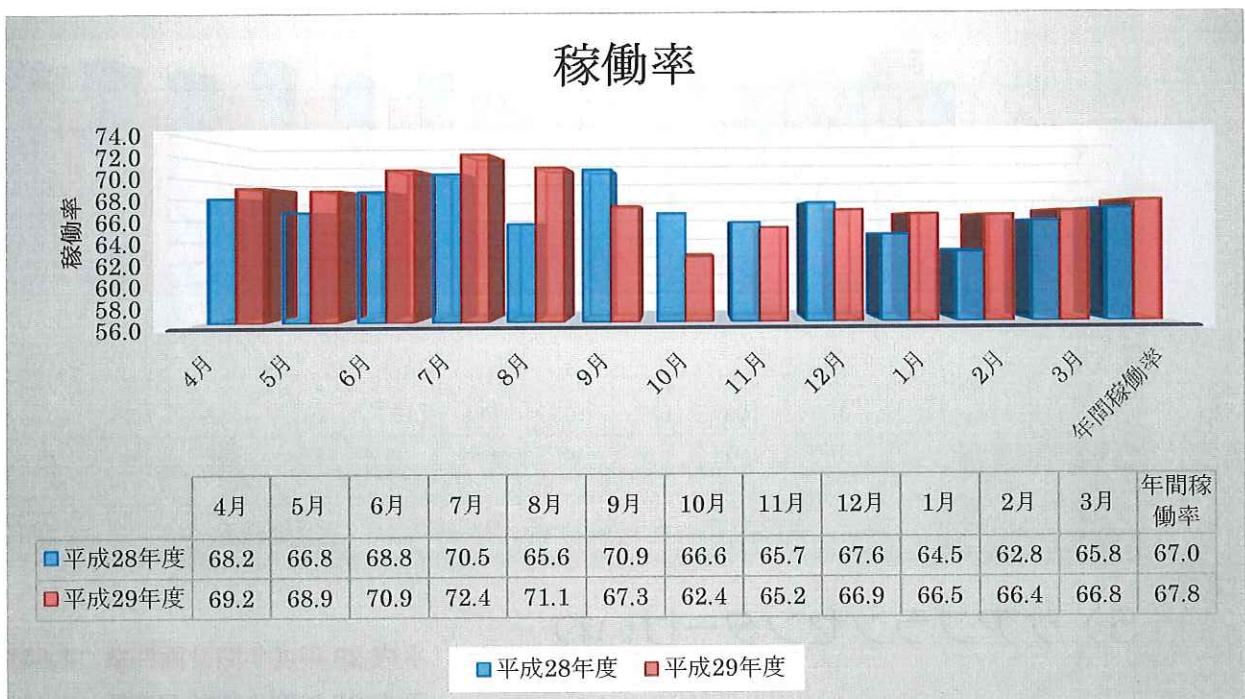
平成 29 年度年間配食数 531 食  
平成 28 年度年間配食数 51 食  
(前年度比 941.2% 増)



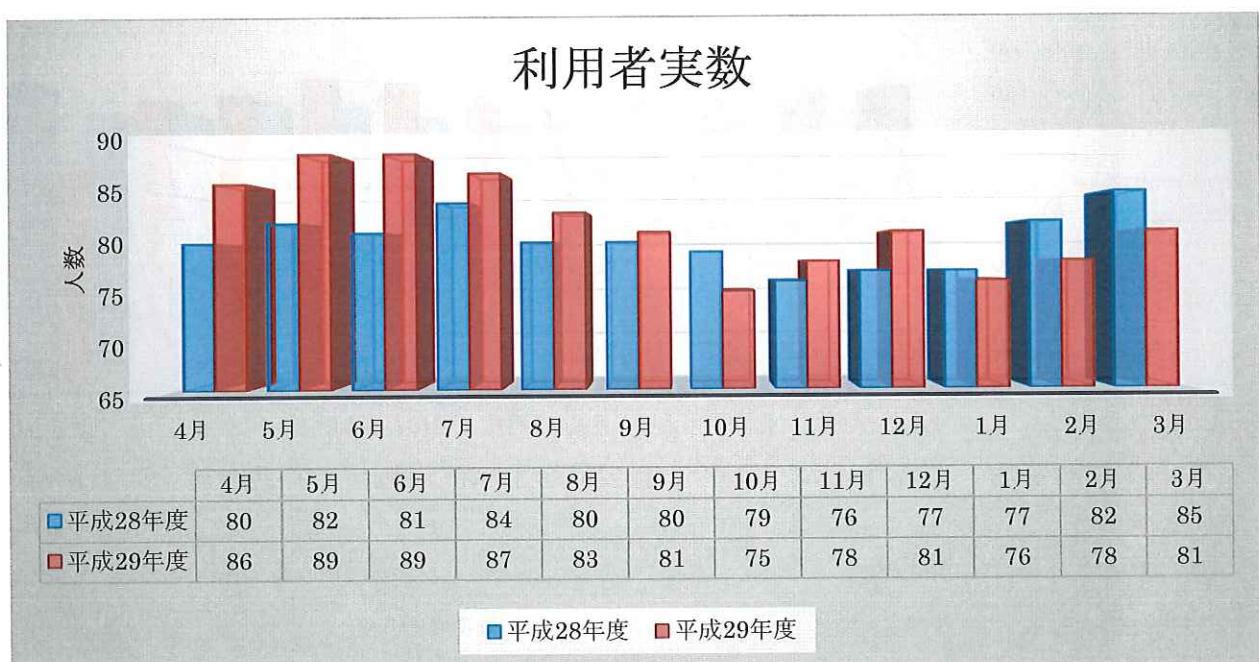
#### 4) えまーぶる

##### I ) 通所介護事業所（定員 40 名/日）

平成 29 年度稼働率 67.8%  
平成 28 年度稼働率 67.0%  
(前年度比 0.8% 増)



平成 29 年度年間利用者実数 984 名  
平成 28 年度年間利用者実数 963 名  
(前年度比 2.2% 増)

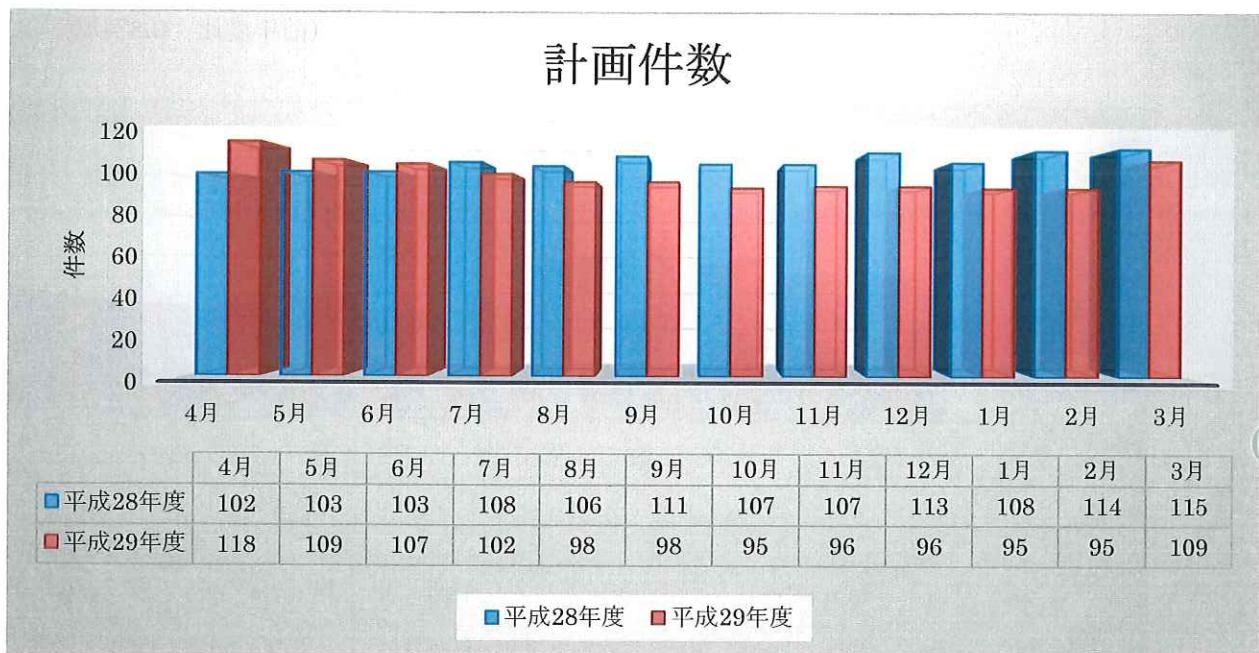


## II) 居宅介護支援事業所

平成 29 年度年間計画件数 1,218 件

平成 28 年度年間計画件数 1,297 件

(前年度比 6.1% 減)

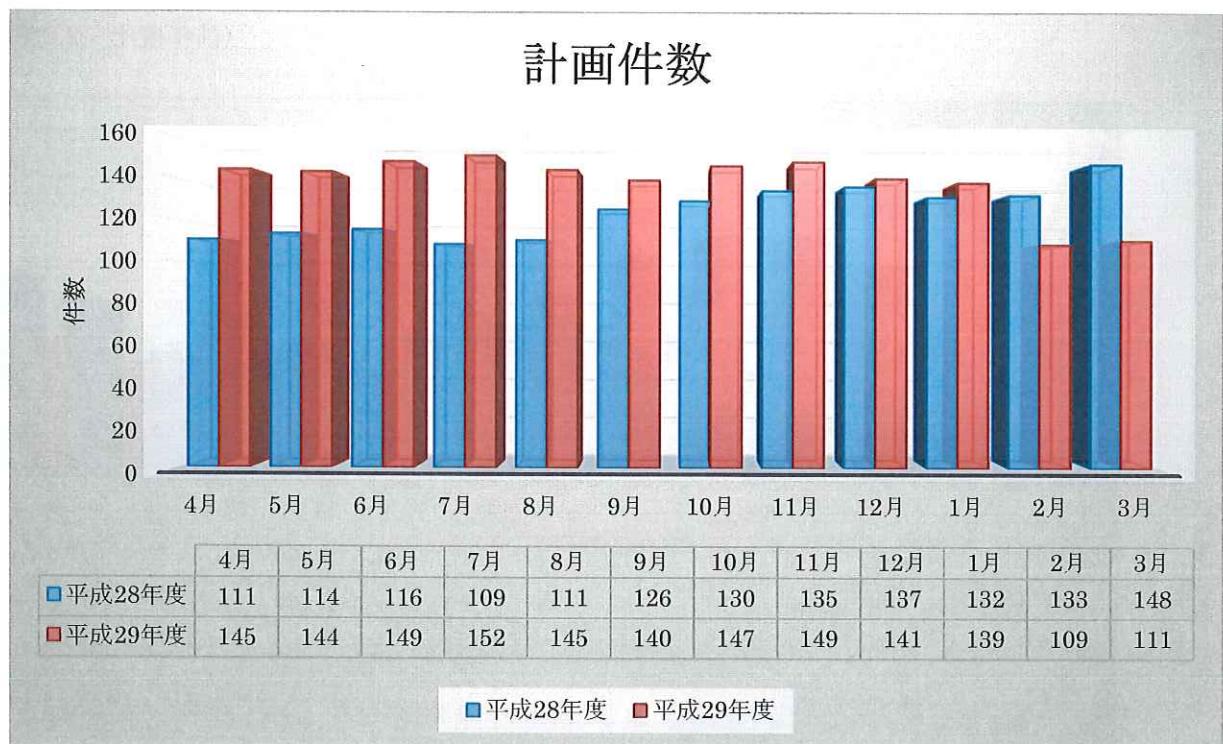


## 5) ケアプランセンターけいわ

平成 29 年度年間計画件数 1,671 件

平成 28 年度年間計画件数 1,502 件

(前年度比 11.3% 増)



### 3. 管財課

#### 事業総括

今後の電気料高騰を考慮し、新館及び本館の主な場所にLED照明の設置を行いました。フロアや廊下が明るくなり快適に過ごして頂いております。

また施設の各エネルギー消費量の調査を実施し、補助金制度を活用した空調機の更新に向けて、取り組みを行いました。

地震災害対策においては新たに事業継続計画（BCP）を作成、災害時に適切な備えと対応が取れるよう継続的な準備を致します。

#### （重点取組事項）

- (1) ライフライン安定供給の構築
- (2) 地震防災の強化と防火対策
- (3) 交通事故防止活動の実施

取組事項	取組内容と達成目標	目標達成状況
(1)	①空調設備の改修に向けて。  フロン排出抑制法が平成27年4月に施行、機器の定期点検の義務化や旧冷媒ガスが規制されまた当施設の大部分が設置後20年を経過しており、故障も出てきていることから、補助金併合を含めた改修を計画、実施して行きます。	空調機老朽化及び省エネ対策の第一ステップとして補助金制度を使った省エネ診断を実施、各エネルギー消費量を測定、次年度第2ステップとなる空調設備改修に向けて準備を行いました。
	②電力コストの節減  空調設備の改修によりランニングコストが下がり又照明をLEDにすることで節電効果が大幅に上がりますが、費用も多く掛かるところから低コストで効果的な計画を進めています。	新館、本館の常時点灯している主なフロア、廊下の照明をLED照明に入れ替えました。今後は電気使用量をチェックして節電効果を検証します。
	③給水管改修及びエコキュート導入後の効果検証  懸案事項であった給水設備の改修工事が今年度終了し、漏水等のトラブルは回避されたと思うが今後も安定供給を目指して	施設内において本館給水管（枝管）の漏水があり、補修しました。その後安定供給しております。エコキュート設備においては、新館地階内

		継続し管理致します。又導入したエコキュート設備が効果的に運転されるよう調整、管理致します。	ボイラーの設定温度を調整しながら、最大限エコキュート導入効果が出せるよう管理しました。
	④施設内による設備営繕の推進	安易的な修繕については施設スタッフにて積極的に行う。物品等の購入、設備工事の発注は複数の業者に依頼、経費節減を図る。	老朽化したベッドキャスターの交換(88ヶ)や新館浄化槽自動スクリーンの交換、雑排水ポンプの交換等を実施しました。
(2)	①地震災害の備えと対策	地震発生時対応マニュアルを見直し作成、各部門に配布。今後防災訓練などで地震災害時に迅速かつ適切な対応がとれるよう実践します。また安否確認情報システムを活用し、職員全員で共有を図り入居者ご利用者を守ります。	マニュアル委員会において災害時事業継続計画(BCP)を作成。災害時人員および災害物資等を速やかに手配出来るよう計画しました。また安否情報システムは、次年度より既存のものと同等なシステムに変更し、情報管理を致します。
	②消防訓練と防災訓練の実施	4月に火災対応マニュアルを基に主に新職員を対象に夜間火災発生を想定した消防訓練を実施、10月に地震発生を想定した防災訓練を行います。	4月と10月に消防訓練(避難・通報・消火)訓練を行いました。今後はBCPを活用した訓練を継続的に行ってまいります。
(3)	①交通事故防止の推進	高齢者の死亡事故が大幅に増加しており、けいわ荘安全運転マニュアルにある【安全運転10ヶ条】を厳守させ、掲示等で交通安全教育を推進します。交通事故発生時は人命の救助を最優先に迅速な処置がとれるよう、保険会社とも連携を取りながら対応します。	管理車両による交通事故は小さな物損事故はありましたが、重大事故及び人身事故はありませんでした。全国交通安全運動期間に合わせてけいわ荘として重点目標を掲げたポスターを表示、交通マナーの向上に取り組みました。

	②施設車両の管理	整備管理台帳を基に定期点検及び日常点検を怠らないよう厳守し、整備不良のないよう管理します。	車検、定期点検の漏れ、遅れのないよう、車両台帳を基に管理しました。冬タイヤの交換、戻し作業は適切な時期に自主にて安全確認のもと行いました。
--	----------	---	---

## 4. 総務課

### 事業総括

組織全体の意思疎通を図るために必要に応じて職員、利用者、そして利用者家族への情報提供等を行い、事業を進めてまいりました。特に社会福祉法の改正による法人制度改革の対策のために、課長会議、評議員会、理事会を定期に開催し、組織全体で情報を共有し、諸手続きや課題解決に取り組んでまいりました。

各部署においては、日常の打合せ、会議等ができる限り効率的・効果的に行うことに努力を傾けてきた事は十分とは言えないまでも一定の成果があったと考えております。日々様々な問題・課題に対し、各部署のスタッフが連携・協力し合い、より適正で充実したサービス提供といった共通目標に向かって一つ一つ取り組んできたが、更なる努力と工夫が様々な分野において一層必要であると考えております。

#### (重点取組事項)

- (1) 利用者サービスの充実
- (2) 地域に密着したサービスの展開
- (3) I C T 化の取り組み

取組事項	取組内容と達成目標	目標達成状況
(1)	①より良いサービス提供へのサポート	各職員がより質の高いサービス提供が行なえるよう、就業環境を整えると共に研修や資格取得に向けたサポートを行う。
	②こころからの接遇	電話・窓口対応等にあたり、心配り・気配り・気のつく対応に努める。
	③満足度・信頼感の充実	ご利用者及びご家族のニーズに耳を傾け、できる限り要望に応えられるよう、サービスに対する満足度の把握や苦情等への迅速な対応に努める。 財務帳票等の公表により透明性を担保し信頼される施設作りをする。

(2)	① 萩野地区のニーズ把握	地域での福祉ニーズの把握に努め社会福祉法人としての役割を担う。	萩野地域包括との連携のもと、「攻めの福祉」の第一歩が踏み出された。
	② 社会貢献事業の展開	新たに地域の住民に喜ばれ地域に貢献できる事業の展開に努める。	萩野小学校の慰問あるいは萩野中学校体験学習、養護学校の現場実習受入れなど双方にとって大きな成果をあげることができた。
(3)	①事務処理のデジタル化	膨大な事務書類を極力デジタル化し効率よく共有すると共に、ペーパレスによる経費削減を行なう。	今一步、努力が足りず、次年度への継続的課題となつた。
	③ 記録システムの活用	記録システムによる介護サービスの効果性や質の評価の裏付けとなるエビデンスの集積に努め介護現場をサポートする。	ノートナーの研修に事務職が積極的に参加し、エビデンスの収集に努め、ある程度の介護現場のサポートに努めることができた。

## 5. ケアハウス「えがりて」(定員 30 名)

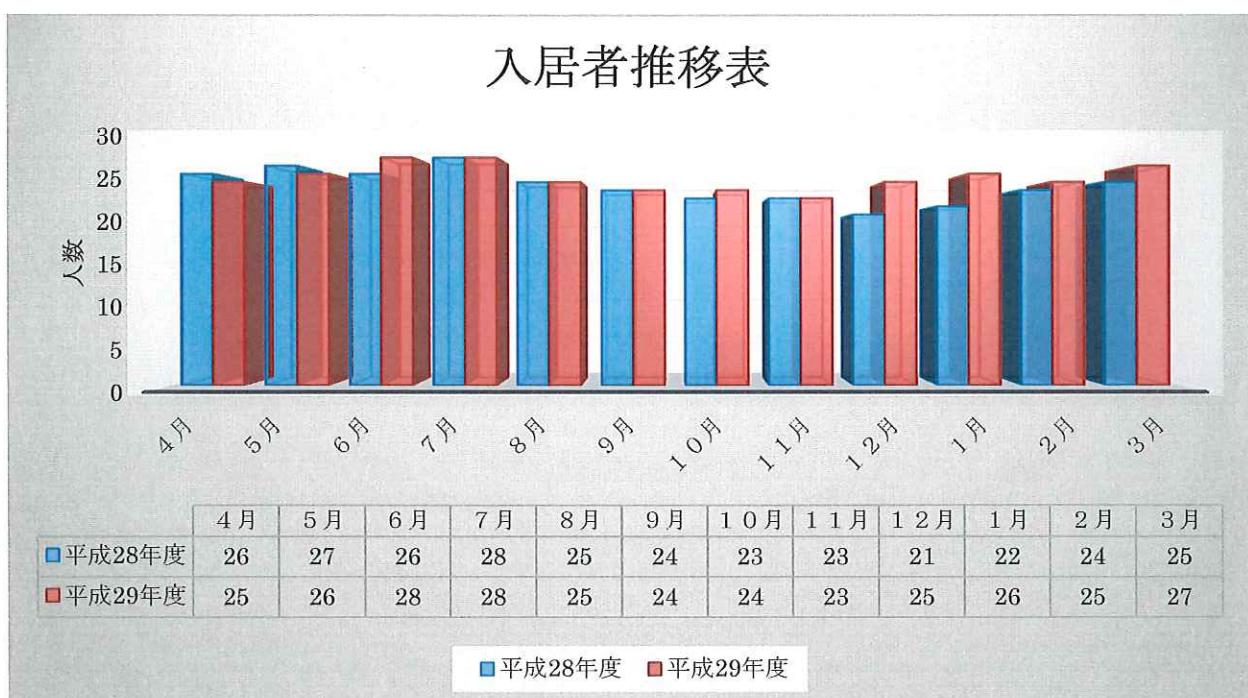
### 事業総括

ケアハウスの趣旨や形態が、地域で十分に理解されていない現状がありますが、「多少の助けがあれば過ごせる高齢者が、身近な地域の中で安心して暮らせる施設づくり」を目指し、地域諸機関・行政のご支援のもと、諸課題を克服しつつ、真摯に仕事に取り組みご入居者様の確保・獲得に努めてまいりました。

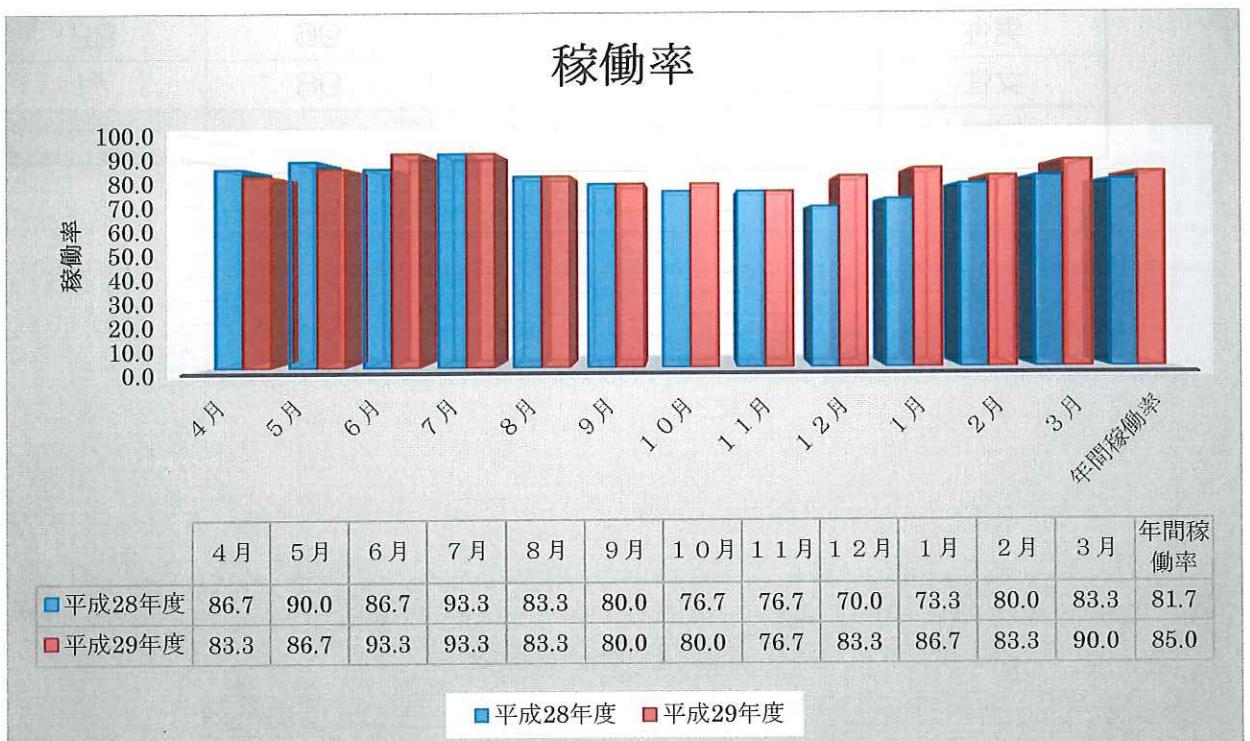
平成 30 年 3 月 1 日現在、【定員 30 名に対し、入居者が 27 名】稼働率 90.0% でした。次年度に向けて、更なる広報活動に力を入れ、残り 3 床の確保に全力を注いでまいります。

「尊厳の保持」と「自立支援」を目標に、入居者様の住まいであることを十分認識し、笑顔が絶えないケアハウスえがりてにしていくために、「その人らしく」生活できるよう一人ひとりのニーズを大切にするとともに、毎月 1 回実施している運営懇談会で、ご入居者・ご家族のご意見やご要望を把握し、的確な対応に努めてまいりました。

今後とも、入居者様の自主性を尊重することに主眼をおき、入居されている皆様が、「健康で喜びをもって生きられる環境づくり」ならびに「明るく心豊かな日常生活を送っていただく」ことに全力をあげてサポートしてまいります。



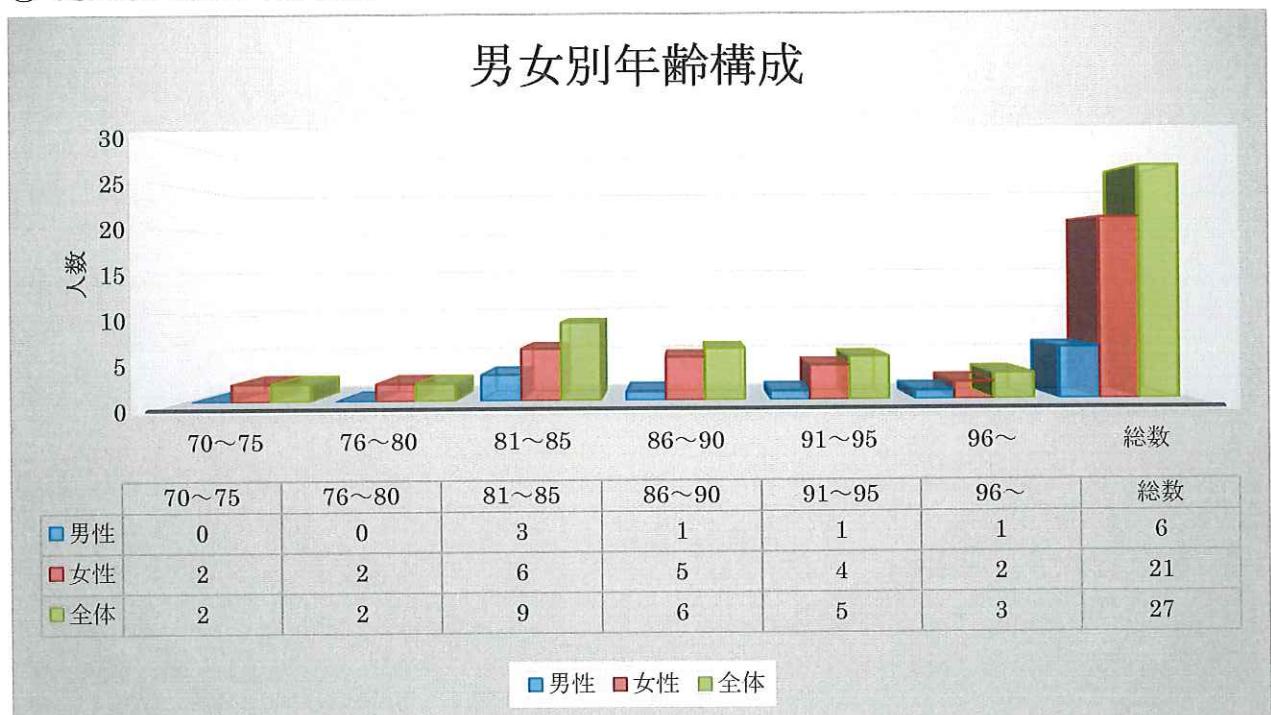
平成 29 年度稼働率 85.0%  
平成 28 年度稼働率 81.7%  
(前年度比 3.3% 増)



### ケアハウス えがりて 年齢構成

(平成 30 年 3 月 1 日現在)

#### ① 男女別入居者年齢構成



② 平均年齢、最高・最低年齢

	入居者数	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	6	88.0	96	82
女性	21	85.9	98	71
総数	27	86.4		

## 【研修会報告】

### ① 外部研修

月	日	研修名	参加人員
4	12	コーチング（御茶ノ水ケアサービス学院）	1
	7		
	26		
5	17	レクリエーション介護士 1 級講座（一般社団法人日本アクティブコミュニティ協会）	1
	29		
	13		
	15	訪問介護サービス提供責任者研修セミナー（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会）	1
	16		
	31	『だからユニットケアなのです』（全国個室ユニット型施設推進協議会）	1
	16	平成 29 年度介護技術研修（基本編）	1
6	31	（神奈川県社会福祉協議会）	
	12		
	5	第 36 回医療・福祉フォーラム 地域共生社会を目指して （医療・福祉フォーラム実行委員会）	1
	16	「今更きけない、地域包括ケアシステム」（荻野地域包括支援センター）	5
	21	物理学の介助から生理学の介助へ（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）	1
7	23	ストレスマネジメント研修（神奈川県社会福祉協議会）	1
	3		
	10	平成 29 年度チームリーダーキャリアパス（神奈川県社会福祉協議会）	2
	5	第 16 回かながわ高齢者福祉研究大会（神奈川県社会福祉協議会）	12
	11	アサーション研修「伝える技術」（神奈川県社会福祉協議会）	2
	12	介護支援専門員再研修（総合健康推進財団）～9/20	1
8	26	介護技術研修（厚木愛甲地区）	1
	4	救命救急士が教える緊急時の対応（ふたばライフ）	5
	25	平成 29 年度初任者キャリアパス（神奈川県社会福祉協議会）	2
	31	平成 29 年度第 1 回多職種研修会（厚木愛甲地区医療介護連携会議）	2
	31	介護支援専門員 相談援助技術編（神奈川県社会福祉協議会）	3
9	6		
	13	中堅キャリアパス研修	1
	7	平成 29 年度認定調査員（新規）研修（神奈川県総合医療会館）	1
	13	かながわ高齢協地域包括・在宅介護支援センター一部会研修会（平塚市役所）	1
	19	認知症サポーター活動支援事業研修会（神奈川県社会福祉協議会）	1
	21	平成 29 年度消費生活サポート研修（独立行政法人国民生活センター相模原事務所）	1

	27	ノロウイルス・インフルエンザ感染症対策研修	1
10	11	神奈川県介護支援専門員資質向上研修（神奈川県社会福祉会館）	1
	12	隣りの人と笑顔で接していますか（厚木愛甲地区）	10
	13	初任者キャリアパス対応生涯研修	1
	20		
	25	介護技術研修	2
11	2	看取り研修会～3回シリーズ～	2
	17	第2回神奈川県認知症地域支援推進員研修（キャリア開発支援センター）	1
	9		
	10	福祉現場の看取りケア研修（神奈川県社会福祉会館）	1
	14		
	13	心理ストレスと上手に向き合う方法（虐待防止）	2
	14		
	15	全国老人福祉施設大会（福島県郡山市：ビッグパレットふくしま）	4
	28	非正規職員向け研修（神奈川県社会福祉会館）	2
12	29	介護技術研修（厚木愛甲地区）	2
	12		
	23	平成29年主任介護支援専門員更新研修	2
	14	看取り研修会～3回シリーズ～	2
	20	社会福祉法人の経営労務管理体制強化研修（総合福祉研究会）	1
1	22	平成29年度生活支援コーディネーター（神奈川県社会福祉協議会）	2
	12	高齢者福祉における「看取り」のために	1
	15	平成29年度実務研修フォローアップ研修（ケアマネ）	1
	19		
	26	社会福祉法人の経営労務管理体制強化研修（総合福祉研究会）	1
	23	平成29年度プリセプター	2
	24	社会福祉法人における計算書類の見方と財務分析のすすめ方	1
	26	平成29年度認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	1
2	27	平成29年主任介護支援専門員更新研修	2
	2		
	20	平成29年度実務研修フォローアップ研修（ケアマネ）	1
	3	看取り研修会～3回シリーズ～	2
	3		
	10	平成29年主任介護支援専門員更新研修	2
	17		
	10	平成29年度市民防災研修（厚木市自主防災隊連協議会）	4
	9	アンガーマネジメント（愛甲地区社会福祉連絡会）	3

	12	やっぱり家がいい～医療・介護・生活支援を考える～	3
	14	高齢者福祉事業経営セミナー（全国社会福祉法人経営協議会）	1
	16	訪問看護をもっと知ろう（荻野地域包括支援センター）	4
	20	看取り研修会～3回シリーズ～	2
	20	平成 29 年度人材育成体制研修（神奈川県社会福祉協議会）	1
	21	予算・決算承認理事会から評議員会開催までの手続き方法（全国公益法人協会）	1
	16		
	20	平成 29 年度介護支援専門員研修課程Ⅱ	1
	27		
	1	平成 29 年度アセスメント研修（神奈川県社会福祉協議会）	1
	2	平成 29 年度プレ・リーダー研修（神奈川県社会福祉協議会）	1
	3		
	15	平成 29 年度主任介護支援専門員更新研修	2
	6	平成 29 年度介護支援専門員研修課程Ⅱ	1
	13		
	13	平成 29 年度相談援助技術 應用編（神奈川県社会福祉協議会）	1
	12		
	13	第2回サービス管理者責任研修（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会）	1

## ② 施設内研修

月	日	研 修 名	参加人員
6	21	第 15 回施設内研修会『災害時の対応マニュアル』（マニュアル委員会）	69
11	8	第 16 回施設内研修会『感染症対策（ノロウイルス）』	71
2	21	第 17 回施設内研修会『成年後見人制度について』	65

## ③ 幹部職員養成研修

月	日	研 修 名	参加人員
4	7		11
6	9		11
7	21		11
8	25		11
9	8	① 人事給与制度運用研修	11
10	13	② 会計処理業務研修	11
11	17		11
1	19		11
2	16		11
3	9		11



平成29年度

# 事業報告書

社会福祉法人 敬和会

けいわ保育園  
けいわ星の子保育園

# 目 次

## 〔けいわ保育園〕

基本理念	44
事業総括	44
基本方針	47
I 人材育成	47
II 保育の質の向上	47
III 保護者支援・地域子育て支援・世代間交流	47
IV 安全管理の徹底	48
具体的取組内容及び達成目標	48
行事の実行	51
平成29年度園外研修参加記録	52

## 〔けいわ星の子保育園〕

基本理念	53
事業総括	53
地域育児センター事業	55
① 子育て家庭交流事業「音遊びコンサート」	55
② 地域訪問事業「お話し会」	55
③ 中高生と園児の体験交流事業	55
具体的取組内容及び達成目標	56
行事の実行	57
平成29年度研修報告	58

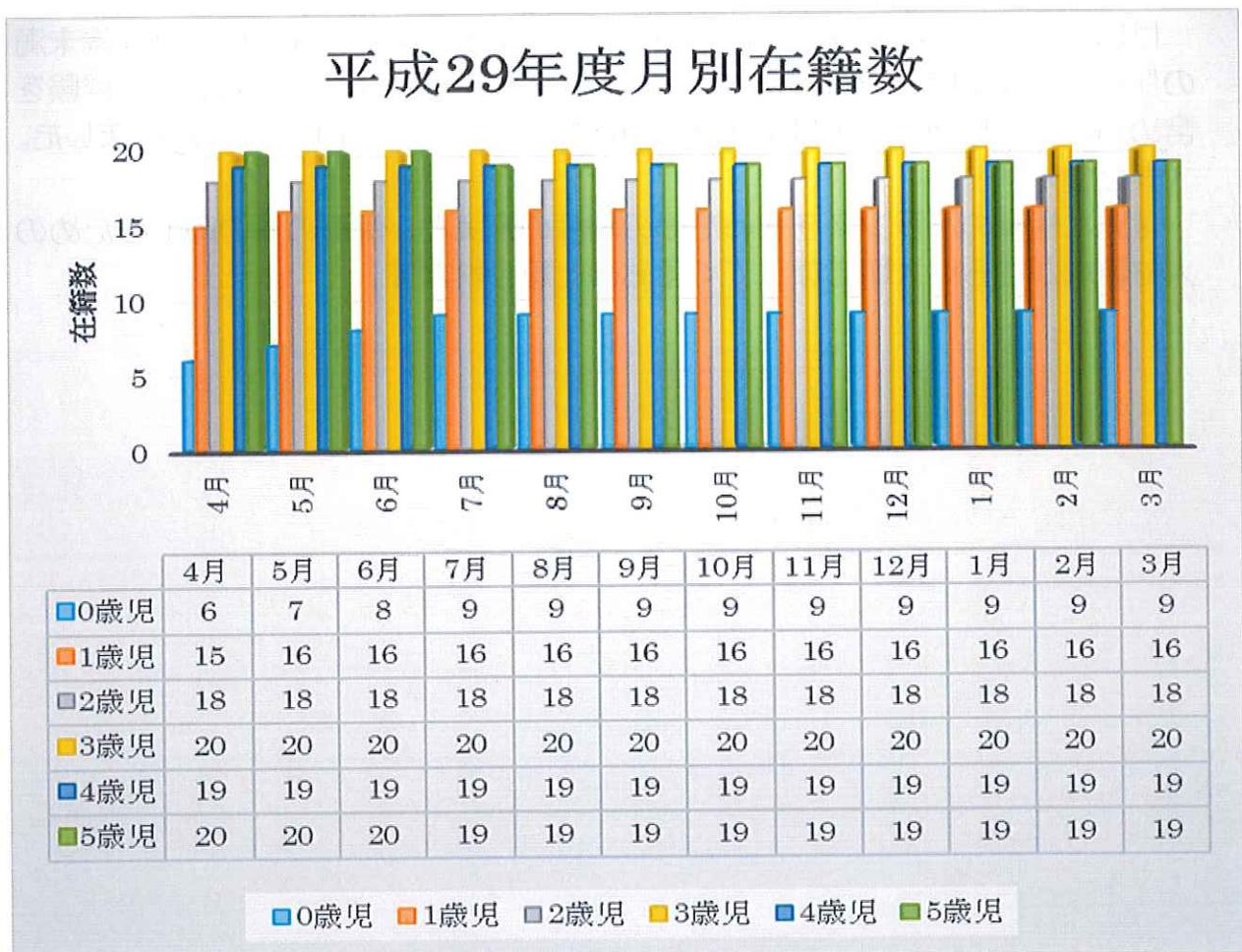
## けいわ保育園

### 〔基本理念〕

1. けいわ保育園は、子ども一人ひとりの個性を受け入れ、大切に育てます。
2. けいわ保育園は、豊かな保育環境を用意し、遊びのなかで子どもの成長・発達を育みます。
3. けいわ保育園は、地域社会との交流を通じて「和」を学び、生きることの「意欲」・「思いやり」を育てます。
4. けいわ保育園は、子育て支援・育児支援を行います。

### 〔事業総括〕

平成29年度は、年間1,208名(111%)の延べ入園数のうち、保育標準時間利用者が94%、保育短時間利用者は6%でした。



入園者の中には、虐待の畏れのあるケースで児童相談所を通して入園したり、難聴で身体障碍者手帳取得のお子さんも 2 名入園したりして、保育園組織としての対応と保育士の専門性が問われた 1 年でした。

特に、虐待の畏れがあるため児童相談所を通して入園に至ったケースについては、関わっている子育て支援センターや児童相談所、保健所等専門機関と定期的に情報交換を行いました。そのうえで、厨房や保育士全員が、情報を徹底し、対応を検討したうえで保護者対応を行いました。

また障碍のある子どもに対しては、今まで受けた療育の研修や、「発達に特性のある子ども」の研修等で得た知識や技術、ケースワークの知識を使い、対応してきました。

様々な家庭、ケースに対応するために保育士の専門性が問われています。  
今後とも人材育成と保育の質の向上を図っていきたいと思います。

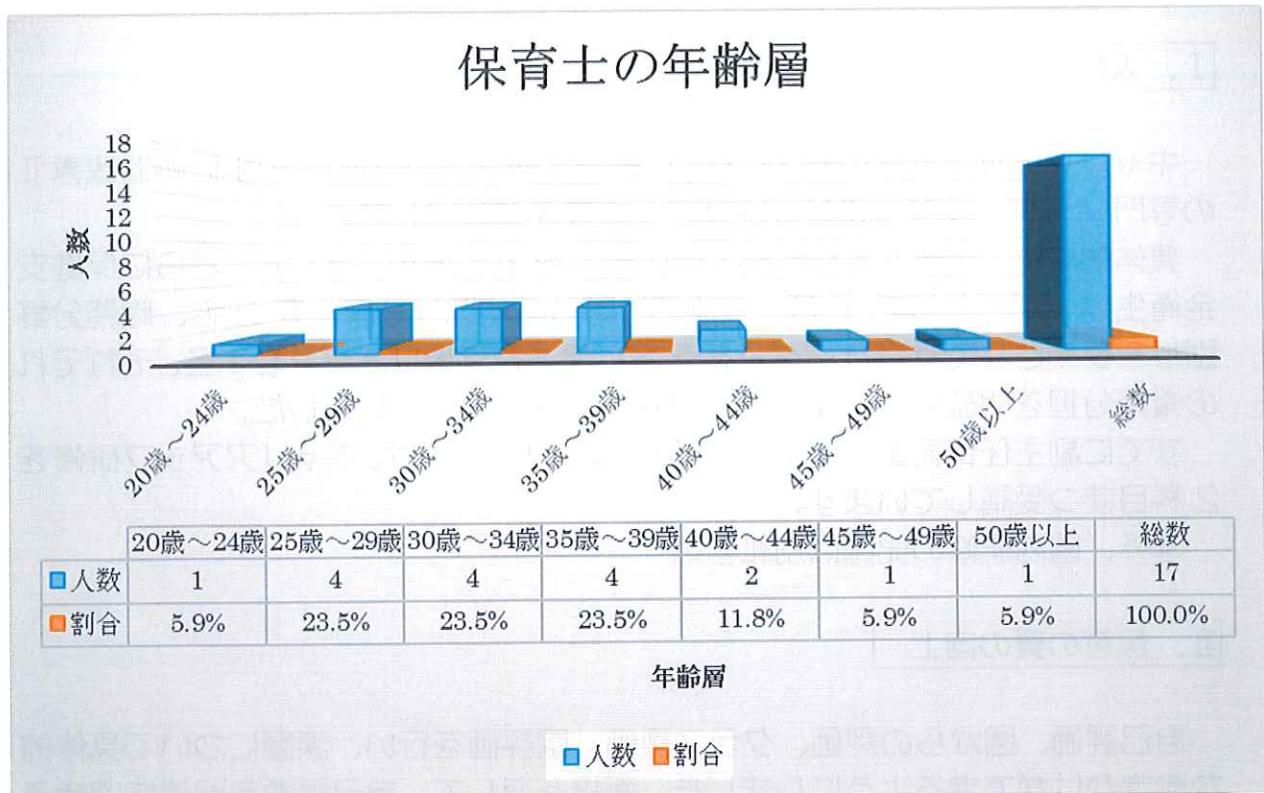
それに関連し、平成 29 年度から始まった保育士のスキルアップ制度を導入しました。

また、在職者の一部は、平成 27 年度の給与表改正によって新卒者との給与の逆転があったため、平成 29 年度は、賞与時の一時金として、平成 30 年度から基本給を上げました。

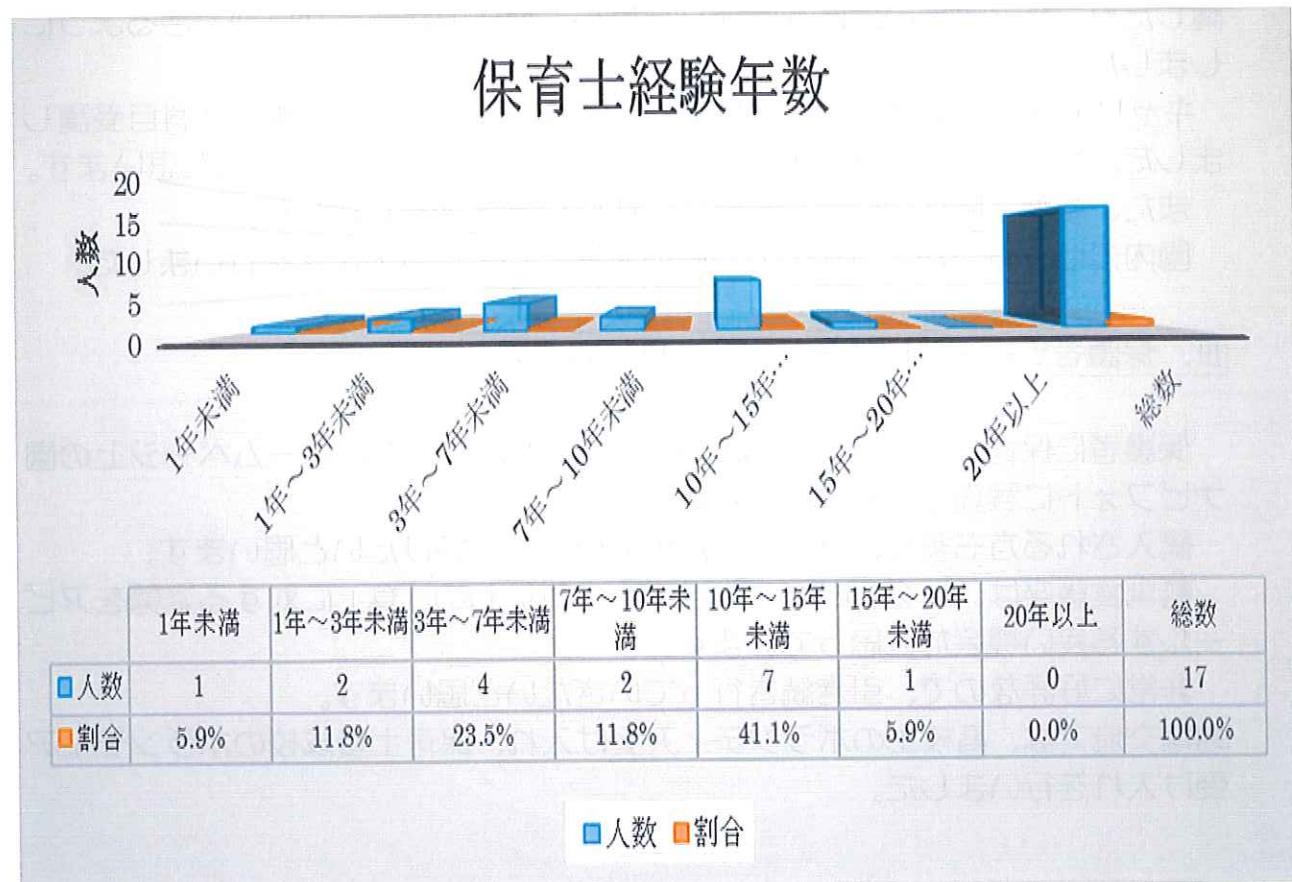
けいわ保育園は開園 16 年目を迎え、保育士の年齢も 25 歳以上 40 歳未満の保育士が 7 割を占めています。(表 1 参照) また、経験年数も他園の経験を含めると、平均が 9 年以上となり、中堅、ベテラン保育士が多くなりました。(表 2 参照)

育児と仕事のバランスを取るための制度の充実と、保育の質の向上のための人材育成がさらに大切になってくるものと思われます。

【表1】



【表2】



## 〔基本方針〕

### I. 人材育成

キャリアアップ制度の導入に伴い、経験年数 7 年以上の保育士に待遇改善Ⅱ の専門リーダー及び職務分野別リーダーを任命しました。

具体的には、今まであった副主任保育士を 1 名増やしました。さらに保健安全衛生リーダーとして 1 名、今までと同じ乳幼児リーダーを 2 名、職務分野別リーダーとして食育リーダーを 2 名、保護者支援リーダーを 1 名、それぞれの業務分担を明確にし、キャリアアップを図るようにしました。

すでに副主任保育士 1 名と保健安全衛生リーダーは、キャリアアップ研修を 2 科目ずつ受講しています。

園外、園内研修の記録は別紙参照

### II. 保育の質の向上

自己評価、園からの評価、クラス評価、園評価を行い、課題について具体的な働きかけができるようにしました。面接を通して、自己課題を明確にできるように行いました。

また、「発達に特性のある子ども」に対しては、「まめの木」主催の研修を受講したり、発達障害の研修を受講したりして具体的な働きかけができるようにしました。

キャリアアップ研修は 2 名 (90 名規模の保育園は 2 名上限) 2 科目受講しました。引き続き、来年度もキャリアアップ研修を受講させたいと思います。

また、腰痛予防体操や防災研修等の研修にも参加をしました。

園内では、新卒が入ったので、園内研修として食育の研修を行いました。

### III. 保護者支援・地域子育て支援・世代間交流

保護者に保育の様子を伝える試みとして 3 か月ごとにホームページ上の園ナビフォトに写真をアップしました。

購入される方も多く、好評でしたので引き続き続けたいと思います。

離乳食講座は、年 2 回行っていますが、けいわの「食」に対する姿勢をアピールする良い機会だと思っています。

非常に好評なので、引き続き行っていきたいと思います。

地域交流では、高校生のボランティア受け入れ、保育士養成校のボランティア受け入れを行いました。

#### IV. 安全管理の徹底

AED の導入と研修  
防犯カメラの導入

〔具体的取組内容及び達成目標〕

具体的取組内容		達成目標	目標達成状況
(I)	<b>人材育成</b> キャリアアップ制度に伴う リーダー任命	業務分担を明らかにする  研修受講	業務分担が不明確で主任・副主任がやることが多かった。保健安全衛生リーダーは、避難訓練後の話し合いにより、マニュアル変更になった時は、適時変更をし、クラスに変更後のマニュアルを絵入りで配っていた。 キャリアアップ研修 副主任  マネジメント 障害児保育
	<b>園内研修</b>	事故に際しての緊急処置を学ぶ 子どもの喫食についての基礎知識を学ぶ	保健安全衛生リーダー 保健衛生・安全対策 マネジメント AED 研修（業者） 心肺蘇生と AED 消防署 食育研修
		平成30年から施行の指針の内容を学ぶ リスクマネジメントの意識を持つ	保育士研修 保育所保育指針について  事前にクラス会議でなぜ起きたか話しあい、保育会議の時間を使って検討をした。
	<b>園外研修</b> ヒヤリハットを使った研修		別紙参照 保育会議で話し合う
	<b>厚木市民間保育会 保育士</b>	他園との交流・情報交換	新人保育士交流会 「各園の接遇についてや考え方

	部会への参加		方」 リーダー研修会 〇歳児担当者交流会○
	苦情解決	ケースを通して話 し合う	保護者対応の基礎を学ぶ
(II)	保育の質の向 上	自己評価、園からの 評価、クラス評価を行 い、課題を明確にす る。	面接や自己評価をとおして、自 分が設定した課題と園から言 われた課題を明確にでき努力 できた。
	保育環境の整 備	砂場を設置する。	子ども達が土と親しむ機会を 作る。
	連続性のある 保育	〇歳児から 6 歳児 までの発達を踏ま えた連続性のある 教育・保育の働き掛けを深める。 (運動遊び等)	幼児運動指針を踏まえ、運動遊 びを行う。 3 歳児～5 歳児までは、共通テ ーマで年齢ごとに設定した。 素敵な 3 人組で運動遊びを朝 の時間に行った。
(III)	保護者支援 地域支援 世代間交流 離乳食講座	離乳食の基礎知識 を試食会を通して 伝える。 クラスの取り組み として、 「大きくなったよ」 のテーマで紹介。 わくわく会への招 待	離乳食講座 6 月 2 月実施。  子どもの育ちを写真や壁新聞 で伝える。
	地域子育て支 援 小中高生との 交流	運動会への招待。 高校生・保育士養成 校のボランティア 受け入れ。	地域子育て家庭 小中学生との交流 ボランティア受け入れ 8 月

(IV)	<p>安全管理の徹底</p> <p>AEDの設置</p> <p>防犯カメラの設置</p> <p>砂場・プール横の門の設置</p>	<p>使用方法を業者を招いて研修をした。</p> <p>砂場・プールにもカメラを設置。</p> <p>事故等への予防に繋げる。録画機能付き。</p> <p>(プール使用時の安全確認)</p> <p>子どもの駐車場への飛び出しを予防する。</p>
------	--	--

〔行事の実行〕

時期	内 容	備考
4月	進級・新入式・クラス懇談会	実施
5月	内科検診・ぎょうちゅう検査	実施
6月	わくわく会 お店屋さんごっこ・歯科検診・5歳児プラネタリウム	実施
7月	七夕会・5歳児お泊り保育・プール開き・人形劇鑑賞会	実施
8月		
9月	引き渡し訓練・敬老の日のつどい・乳児遠足	実施
10月	運動会(0, 1歳児はなし) サツマイモ掘り	実施
11月	5歳児演劇鑑賞会・内科検診・消防署見学	実施
12月	お餅つき・クリスマス会	実施
1月	クラス懇談会	実施
2月	節分会・生活発表会	実施
3月	5歳児お別れ遠足・ひな祭り会・お別れ会・進級説明会・卒園式	実施

☆身体測定（身長、頭回り、体重）は毎月測定

☆誕生会：乳児・幼児とも毎月行うが、乳児はクラス内で行う。

☆保護者参観・保護者参加：参観は随時対応 日課により保育参加あり

☆調理保育：保育日課に取り込む（たまねぎむき、午後のおやつ作り）  
全体的な調理保育は年に2回～3回

☆戸外保育：気候のよい時期（5・6・9・10・11月）

☆花育：年間4回程度 花の生育や色、匂いを楽しむ

☆その他：中高生交流事業 職業体験受入れ

☆地域交流事業：6月わくわく会（人形劇）に地域の子育て家庭を招待  
離乳食講座 らくらくクッキング  
育児相談事業  
子育て情報誌発刊

☆職員研修・職員会議：年間12回（食育研修1回・救急法講習会1回含む）  
園外研修…宿泊研修（年間2～3回）  
経験・配置に応じた研修受講

[平成29年度園外研修参加記録]

日時	職種	研修名	主催	参加人員
4月8日	新任保育士	新任保育士激励会	神奈川県社会福祉協議会	1
6月29日~30日	保育士	保健・衛生専門研修会	全国保育協議会	1
7月26日~27日	保育士	ワンダーサマースクール	ワンダー	1
10月16日・11月7日	保育士	0歳児保育研修	白峰学園横浜短期大学	1
7月20日	保育士	新人保育士交流部会	厚木市民間保育会保育士部会	
9月14日	保育士	リーダー研修会	厚木市民間保育会保育士部会	2
9月19日	保育士	平成29年度まめの木研修会	福祉部福祉総務課	1
9月26日	保育士	アレルギー疾患対策研修会	神奈川県	1
9月28日	保育士	子どもを預かる施設における深刻事故予防とコミュニケーション	厚木市民間保育会保育士部会	5
10月28日	保育士	防災研修 HUG ワークショップ	YMCAあつぎ保育園村山地域活動	1
11月10日	保育士	腰痛予防体操とYMCA キッズコーディネーショントレーニング	厚木市民間保育会保育士部会	5
11月10日	栄養士	スチームコンベクション調理セミナー	ホシザキ湘南㈱	1
11月13日	保育士	キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	㈱ボビンズ	1
11月14日	保育士			
11月17日	保育士	まめの木研修会	福祉部福祉総務課	1
11月25日	保育士	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	㈱ボビンズ	1
11月27日	保育士	「子どもの絵を覗いてみたら」	厚木市民間保育会	1
11月28日	保育士	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	㈱ボビンズ	1
12月1日	保育士	発達障害のある子どもと行動の問題	新医協東京支部	1
12月14日	保育士	キャリアアップ研修(マネジメント)	㈱ボビンズ	1
12月15日	保育士			
12月18日	保育士	発達障害のある子どもと行動の問題	新医協東京支部	1
1月21日	保育士	キャリアアップ研修(マネジメント)	㈱ボビンズ	1
1月22日	保育士	キャリアアップ研修(障害児保育)	㈱ボビンズ	1
1月26日	保育士	福祉施設における防災対策と施設の危機管理	社会福祉施設連絡会	1
1月27日	保育士	日常保育での子ども主体の関わりについて	厚木市児童発達支援センターひよこ園	1
1月31日	保育士	キャリアアップ研修 (障害児保育)	㈱ボビンズ	1
2月1日	保育士			
2月2日	保育士	キャリアアップ研修 (マネジメント)	㈱ボビンズ	1
2月3日				
3月3日				
3月11日				
3月18日				

## けいわ星の子保育園

### 〔基本理念〕

1. 家庭的な温かい環境のもとで、一人ひとりをしっかり受け止め情緒の安定した生活ができるように大切に育てます。
2. 豊かな保育環境を提供し、夜間保育園「ならではの多様な体験を積むなかで、子どもの成長を育みます。
3. 異年齢児保育・世代間交流・地域交流などの関わりを通じ、優しい心と生きる力を育みます。
4. 地域の子育て支援・育児支援を行います。

### 〔事業総括〕

待機児童解消が至上命令となっている各自治体は、競って保育園の増加を図り、特に本厚木駅近辺は沢山の保育園が出来ました。

2月に3か所の小規模保育所が開設されたことにより、保育士ばかりか園児の確保も厳しくなってきています。

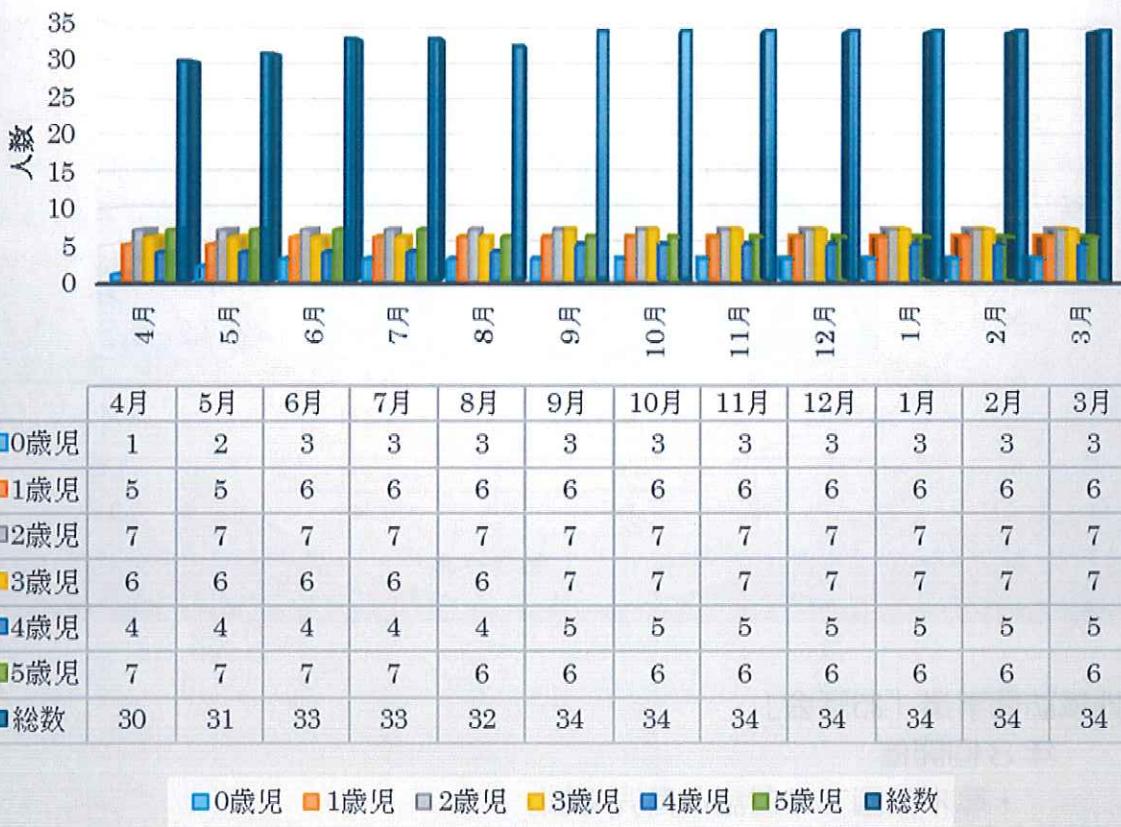
保育士の待遇を改善する為、研修受講による技能を習得することによってキャリアアップする仕組みが出来ました。しかしながら希望する研修がなかなか受けられないほど申し込みが殺到し、2年間での受講は無理との判断から4年に延期されました。

保育士には、辞令交付による役割リーダーが誕生し、モチベーションのアップにつながりました。

保育士の技量アップが保育の質の向上にもつながり、研修を受けてくると現場に反映する事がスムースにできるようになりました。

しかし、研修のため1教科について3日間抜けることは、現場にとっては大きな負担でもあります。

## 平成29年度月別在籍数

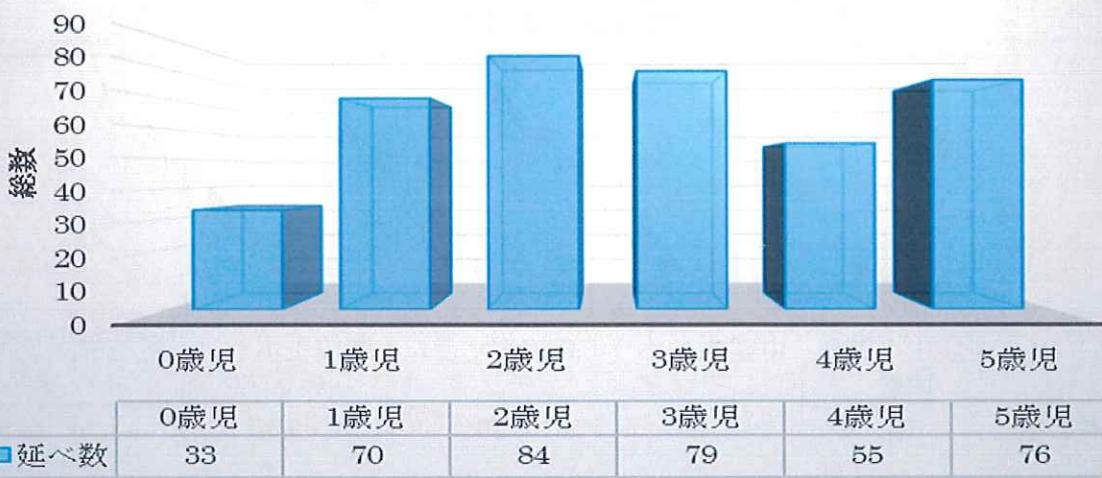


■0歳児 ■1歳児 ■2歳児 ■3歳児 ■4歳児 ■5歳児 ■総数

年齢層	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	総数
定員	7	5	6	6	6	6	30

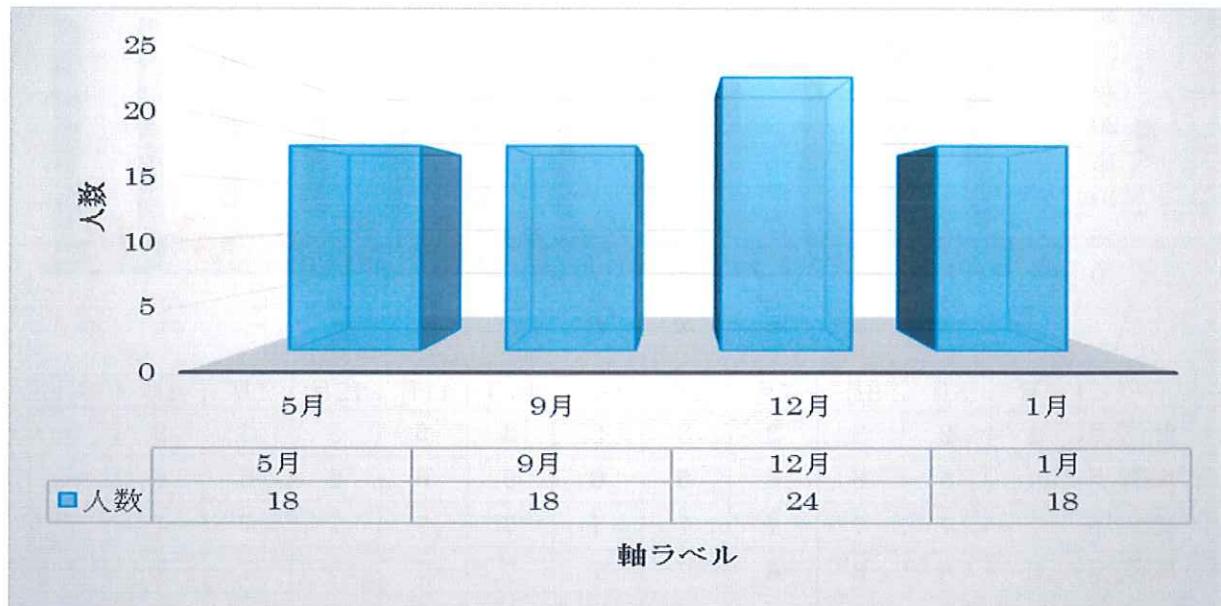
【充足率 110.3%】

## 年間延べ数



## 〔地域育児センター事業〕

### ①子育て家庭交流事業「音遊びコンサート」

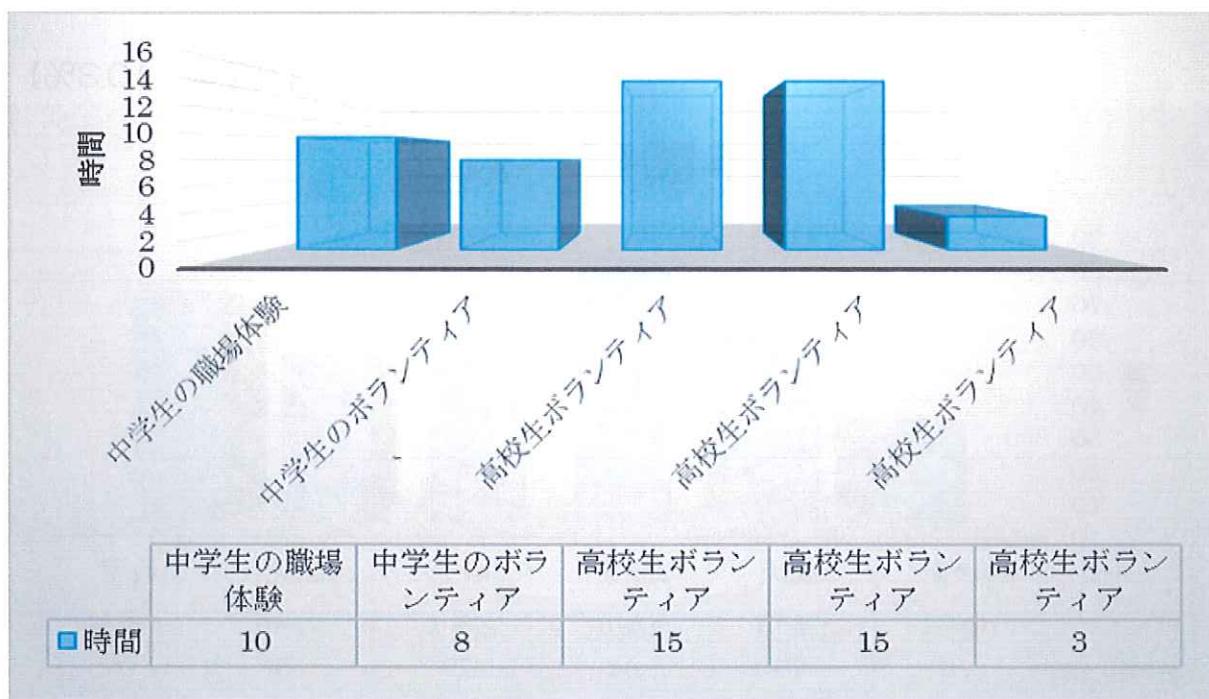


### ②地域訪問事業「お話会」

年8回開催

- ・厚木公園でのお話と育児相談。
- ・毎回3~4組の親子が参加している。

### ③中高生と園児の体験交流事業



## 〔基本方針〕

- (I) 人材育成
- (II) 保育の質の向上
- (III) 保護者支援
- (IV) 地域支援と交流

## 〔具体的取組内容及び達成目標〕

重点取組事項		達成目標	目標達成状況
(I)	人材育成	・新人職員の研修と指導	・新入職員は、順調にスタートをし研修も積極的に参加したが、夏過ぎあたりから仕事のミスが増え、指導が入らない状況となり、11月より療休に入る ・若い保育士の指導担当者としての指導の在り方確認
		・キャリアアップ研修 専門リーダー3名 分野別リーダー2名	・経験年数の長い職員が辞令をうけ給与がアップしたことでモチベーションが上がり、自覚も出て学んだことを速やかに現場に反映していった。
(II)	保育の質向上	・保育の見直しと学び ・「気になる子」への対応	・保育指針の改定時期を迎え、研修を受けた職員が伝え、園内研修を行う。 ・保育の書式の検討。 (児童票・日誌・計画) ・支援について療育機関との連携をし、保護者と共に歩む姿勢を伝えることで理解を深めた。
(III)	保護者支援	・入園・進級1ヶ月後のアンケートから保護者の悩みをいち早く知る。	・登降園時のきめ細かい対応の中で子どもの育ちや変化を知らせ、成長をともに確認しあう。 ・保護者が感じている疑問に

			<p>対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の都合ばかりでなく、子どもの思いと向き合うことを伝え育ちの共有を図った。</li> </ul>
(IV)	地域支援と交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援事業の実施</li> <li>・中学生の職場体験</li> <li>・ボランティアの受け入れ</li> <li>・お年寄りとの交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり保育の実施</li> <li>・中高生や学生のボランティアと保育士達が交流する場を持ち理解を深めた。</li> <li>・えまーぶるのお年寄りとのスイカ割や日常交流。</li> <li>・けいわ荘の納涼祭に3, 4, 5歳児が参加して楽しむ。</li> </ul>

### 〔行事の実行〕

月	内 容	備考
4月	進級式・入園式・O, 1歳児の懇談会・職員研修会	実施
5月	内科検診・家族交流会・音遊びコンサート	実施
6月	歯科検診・苗植え遠足・2歳児クラス保育参加・水消火訓練・職員研修会	実施
7月	七夕会・プール遊び・5歳児懇談会・お泊り保育・カレーパーティ	実施
8月	3, 4歳児クラス懇談会	実施
9月	引き渡し訓練・お月見会・戸外給食・内科検診	実施
10月	戸外遠足・サツマイモ堀・運動会	実施
11月	演劇鑑賞会・内科検診・防災センター見学・職員健康診断	実施
12月	音遊びコンサート・クリスマス会・お餅つき・職員研修会	実施
1月	個人面談	実施
2月	節分会・音遊びコンサート・生活展	実施
3月	ひなまつり・進級説明会・お別れ会・お別れ遠足・卒園式	実施

※誕生会・身体測定・避難訓練は毎月実施

〔平成 29 年度研修報告〕

種類	内 容	参加人数
キャリアアップ研修	乳児保育	2
	幼児保育	1
	保護者支援・子育て支援	2
	マネジメント研修	2
	保育実践	1
厚木市商工会議所新入職員研修		1
厚木市民間保育会	分野別交流	5
	事故予防	3
	腰痛予防・子どもの運動指導	1
	子どもの絵から学ぶ	3
	幼保小連携交流	3
全国夜間保育園交流研修会		3
摂食機能発達支援研修会		2
アレルギー疾患対策研修会		2
療育研修（気になる子の就学事情）		1
救急救命講習会		18

